

令和3年度 事業報告

I. 事業運営目的

法人定款第1条の事業運営の目的である「利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを実現するため、各事業に取り組んだ。

II. 主な実施事業

【ケアハウス巣子拠点区分】

【第1種社会福祉事業】

・軽費老人ホームケアハウス事業

事業目標に対しての評価

事業目標	事業方針	評価
コミュニケーションを重視し趣味や個性をくみ取る事で不安を安心に変え、心地よさや充実感を感じて頂けるよう支援致します。	① 利用者様の健康管理や予防を図り、体調不良や異常の早期発見に努めます。 ② 老いてゆく事を受容でき利用者様同士が向き合える体制づくりを心がけます ③ 定期的に居室訪問を行い、コミュニケーションを図る機会を持つと共に、自主性や生活観を尊重し、個々のニーズに合わせたきめ細やかなサービス提供に努めます。 ④ 市町村及び保険、医療、福祉サービスの関係機関と密接な連携を図ります。	① 月1回の健康チェックや各種訪問サービス提供者との情報共有により早期発見、対応をすることができました。 ② 各行事など、他者との交流の場の提供づくりができました。 ③ 毎日の訪室や日々のコミュニケーションの積み重ねで、個々のニーズの汲み取りや不満の解消、サービスの質の向上に努めることができました。 ④ 各所と連携を図り、入居者、家族様への情報提供や支援をスムーズに行うことができました。

(1) 入居者の確保への取り組み

入居者定員数20名の維持確保に取り組んだ結果、月平均20.0名の実績を得た。

入居者の推移（各月初め利用者数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
男	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6	5.0
女	16	16	15	15	15	15	15	15	15	15	14	14	15.0
計	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20.0
内、入院者	1	1		1					1	1	1	2	0.7

出身地別内訳（令和4年3月末現在）

計20名 【県内】 盛岡市5人、滝沢市11人、花巻市1人、岩泉町1人、宮古市1人
【県外】 八戸市1人

(2) 入居者の要支援・要介護の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
未認定	30	31	30	31	31	30	31	14			15	31	22.8
要支援1	90	93	97	124	93	90	93	90	93	93	84	93	94.4
要支援2	180	186	180	186	186	180	186	151	186	186	168	186	180.1
要介護1	180	186	180	186	217	210	217	210	217	217	196	217	202.8
要介護2	60	62	51	31	31	30	62	90	93	68	56	62	58.0
要介護3	60	62	60	62	62	60	31	30	31	31	28	31	45.7
要介護4										25	9		2.8
計	600	620	598	620	620	600	620	585	620	620	556	620	606.6
平均介護度	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	0.8	0.8	0.9

(3) 入退居の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居			1					1			1		3
退居			1					1			1		3
備考	(退居内訳)						(平均年齢)						
	死亡						81.7歳						
	長期入院					1	※男女別	男	77.0歳				
	他施設			1	女	1		女	86.4歳				
	家庭復帰						(入居待機者)						
	その他						1人						
	合計			1		2							

(4) 提供サービス充実への取り組み

入居者様の日常生活における自立性を高め、集団生活内での社会参加を重視しながら以下の項目で支援を実施しました。

① 食事の提供

- アンケートを行い、嗜好や食事に関する意見、感想の収集に努めた。
- 行事やイベント後にアンケート実施し、同様の行事の参考にした。

② 入浴の準備

- 週5日の入浴準備、(火・日曜日を除く)
午後1時から3時半まで男性浴を女性専用浴に設定した。
- 冬期間は床暖房、脱衣所内の暖房管理を行った。

③ 緊急時の対応

- 入居者様の自室からのコールに職員が24時間対応。
- 随時、職員が病院等へ送迎。
- 緊急時の家族連携および他事業所との連携

④ 健康相談・各種生活相談

- 職員による毎月1回の体重測定、血圧測定、体調の相談
- 生活上の不安や悩み解消のため、職員による相談
- 自立支援のための相談および情報提供と他事業者等連携

⑤ 通院援助

- 近隣の医療機関への送迎(総人数753人、月平均62.8人)

⑥ 娯楽行事等の実施

- 毎週1回の小売店等へのショッピング(代行含む)
- 毎月のレクリエーション、行事などの開催

(年間行事)

実施月	行事名	内 容
4月	【一般】お花見ドライブ	3つのお花見コースを設定しアンケートを実施。新型コロナ感染対策のため、車内からの観覧でしたが、ご希望されたお花見コースを楽しんでいただきました。
	【介護付】お花見ドライブ	高松の池周辺をドライブしました。途中車から降り、お茶・お菓子を召し上がりながら桜を見ました。別便では、県立大学の桜を見に行きました
5月	【一般】 レクリエーション「ゴルフゲーム」	閉じこもり防止と体を動かす事を目的とし、ゴムボールをカップに入れ得点を競うゲームを実施しました。
	【介護付】お茶会	スイーツと飲み物を数種類から選んでいただき、バイキング形式で楽しんで頂けました。
6月	【一般】 レクリエーション「牛乳パックとばし」	閉じこもり防止と筋力維持を目的とし実施。牛乳パックに輪ゴムをつけ、棒ですくったパックを投げて点数を競うゲームを実施しました。
	【一般】 レクリエーション「ゴルフゲーム」	閉じこもり防止と筋力維持を目的とし、ゴルフボールをパターで打ち、点数を競うゲームを実施しました。
	【介護付】わくわくクッキング	入居者様と一緒に、白玉あんみつ作りを行いました。
7月	【一般】七夕会	季節行事。七夕飾り作成や短冊に願い事を書き、飾ることで季節感を味わっていただく。飾り終え、プリンアラモードを召し上がりながらゆったりとした時間を過ごしていただいた。
	【一般】 レクリエーション「タオルでポイッ！」	閉じこもり防止と体を動かすことを目的とし、二人一組でタオルにお手玉を載せて飛ばし、点数を競うゲームを実施しました。
	【一般・介護付】 ケアハウス GoGo 屋台村 2021	1、2号館合同行事。新型コロナ対策下で職員による様々なイベントや屋台を通して、自粛ムードの中でもお祭り気分を味わっていただくことができました。
8月	【一般】 レクリエーション「フットボウリング」	閉じこもり防止と筋力維持を目的とし、ボールを蹴ってペットボトルを倒し、点数を競うゲームを実施しました。
	【介護付】ミニ運動会	風船バレー・コップタワー・風船わり等、職員も参加し一緒に楽しみました。
9月	【一般・介護付】 長寿を祝う会 ※歳祝い者の記念撮影	1、2号館別々に開催。お祝い者の表彰を行いました。皆様で行事食の「お祝い全」を召し上がりました。また、お祝い者の記念写真撮影を行いました。
10月	【一般】紅葉ドライブ	行き先は雫石・網張と焼け走りコースを設定。感染対策しながら各方面でのショッピングも並行して行い、紅葉と同時に大変喜んでいただきました。

	【介護付】紅葉ドライブ	行き先は八幡平市のサラダファームと上坊の一本桜を見に行きました。帰設後は、各自で注文したお弁当を召し上がりました。
11月	【一般】 「ミカワヤ」移動販売	新型コロナ感染対策のもと、冬物衣料を購入していただいた。ショッピングが代行になっていたため、大変喜んでいました。
	【一般・介護付】寿司出前行事	今年も感染対策で三寿司さんからの出前を取って食べて頂いた。「バイキング形式と違い一人ずつの桶だったので落ち着いてゆっくり味わうことができた、おいしかった。」と好評でした。
12月	【一般】クリスマス大忘年会	ホテル風のクリスマスパーティをイメージして、食事を楽しんでいただき季節行事を味わっていただきました。その後、感染対策下でのカラオケは大盛況でした。
	【一般】もちつき大会	入居者様と一緒に汗だくになりながら、終始にぎやかに餅つきと成形をしました。
	【介護付】クリスマス大忘年会	コーヒー・ケーキを召し上がりながら、クリスマスプレゼント抽選会、女性職員によるハンドベル演奏、男性職員による髭ダンスの余興をご覧になりました。
1月	【一般】新年会	各事業所の代表者から新年のご挨拶をいただいた後、職員による書道パフォーマンスを行いました。書きあがった書を見て、皆さま感動されておりました。また会終了後の入居者様の書初めコーナーでも真剣に取り組んでいました。
	【介護付】新年会	各事業所から新年の挨拶を行い、職員による獅子舞踊りを披露しました。「新年お祝い膳」を提供しました。正月らしい豪華な食事で皆様喜ばれ召し上がっていました。
2月	【一般】節分行事	運動不足解消の体操、ゲームのあと、職員が扮した「スネカ」に厄除け札を貼って退治しました。その後は梅昆布茶とお菓子を食べながら、節分行事を楽しんでいただきました。
	【介護付】節分行事	感染対策の為、各居室を回り行った。職員が鬼役となり、鬼に向かって丸めた新聞紙を投げ、笑い声も聞かれ皆様楽しめました。
3月	【一般】ひな祭り行事	ひな人形の飾り付けから入居者様に手伝っていただき、当日には道明寺餅と甘酒を召し上がり桃の節句を皆さんでお祝いしました。最後にひな人形と記念撮影をしました。
	【介護付】ひな祭り行事	感染対策を行い、各居室を回り行った。甘酒とお菓子をお配りし、雰囲気を楽しめました。

【その他の行事】

一般…ショッピング（週 1 回、但し新型コロナ感染症流行時は代行）、誕生会（月 1 回）、懇談会（月 1 回）

介護付…ショッピング（月 2 回）、誕生会（月 1 回）、懇談会（月 1 回）、音楽を楽しむ会（毎週水曜日の午前中に実施。コロナ感染拡大後見合わせ）

(5) 地域と交流促進

ボランティアとの親交や、地域との交流促進への取り組み

実施月	団体名	内容
7月	南巣子保育園	園児たちが飾り付けをした七夕飾りを寄贈していただきました。ケアハウス内に飾り、入居者様に楽しんでいただいた。
8月	ジュニアリーダーボランティア	県内の中高生がバルーンアートと応援はがきを持参し来所されました。入居者様は「コロナに負けるな」をテーマにした応援はがきを手感動されておられました。
11月	巣子保育園	園児たちが防災啓発活動の一環で来所され、防災の心得やポスターを寄贈していただきました。
	滝沢第二中学校	学生が地域での資源回収の取り組みから図書カードを寄贈していただきました。
1月	滝沢市家族介護者教室	田村作業療法士による「冬場を元気で安全にお過ごしいただくために」をテーマに講師参加させていただきました。

(6) 研修報告

施設内共通研修（ケアハウス、介護付、居宅、通所）

実施月	研修名	参加人数
4月	新任職員オリエンテーション	1名
5月	職場における主任の役割	6名
	福祉職員の接遇マナー	10名
6月	腰痛予防について	8名
	食中毒について	9名
7月	高齢者虐待防止・身体拘束杯について	2名
	認知症サポーター養成講座 外部講師：横山久子 氏	8名
8月	ハラスメント研修	17名
10月	PPEの着脱研修	8名
	リスクマネジメント、虐待防止について	12名
	感染予防対策研修	13名
11月	腰痛予防研修	8名
12月	高齢者権利擁護について	10名

施設外研修

実施月	研修名	主催者	参加人数
6月	リスクマネジメント研修（基礎編）	岩手県社会福祉事業団	1名
	第2種衛生管理者試験準備講習	岩手労働基準協会	2名
	地域ネットワーク会議	滝沢市地域包括支援センター	1名
7月	ハラスメントの正しい理解（オンライン）	岩手県産業保健総合支援センター	6名
8月	介護事業所における防災・減災対策	仙台市社会事業協会	1名
9月	パーキンソン病・誤嚥性肺炎・摂食嚥下障害について（オンライン）	菟野病院	3名
	REMOTE MCS勉強会（オンライン）	学術メーカー molten	1名

11月	福祉サービス苦情解決情報交換会	岩手県福祉サービス運営適正化委員会	1名
	施設ケアマネジャーの役割（オンライン）	岩手県介護福祉会 宮古広域支部	1名
	介護施設における安全対策担当者養成研修（オンライン）	全国老人福祉施設協議会	1名
12月	介護施設の食を考える、webセミナー	一般社団法人岩手県介護老人保健施設協会	1名
1月	令和3年度第1回感染症研修会（オンライン）	岩手県県央保健所	5名
2月	認知症の理解と対応（オンライン）	介護労働安定センター岩手支部	1名
3月	全国老協LIFE研修	岩手県社会福祉協議会	2名
	これからの介護保険 区別する認知症・差別しない認知症 職業倫理と法令遵守、個人情報保護法（オンライン）	株式会社サンメディカル	5名
	岩手県リハビリテーション専門職種等連携研修（オンライン）	公益財団法人いきいき岩手支援財団	1名
	虐待防止への取り組み	介護労働安定センター岩手支部	1名

【事故報告】 4件

98歳	女性	介護度2	恥骨骨折
発症・詳細	令和3年7月3日、朝6時に本人様からコールあり、「夜中にトイレから戻る時に転んだ」とお話あり、腰部痛の訴えあるためあべ整形外科を受診。恥骨骨折と診断を受け、滝沢中央病院へ入院となる。8/23経過良好にて退院となる。退院後も骨折以前と同様の生活を継続している。（行政報告終了）		

96歳	女性	介護度2	右大腿骨転子部骨折
発症・詳細	令和3年8月24日、廊下を杖歩行されていた際に転倒。右大腿部・右膝の疼痛あり立位不可の為、県立中央病院へ救急搬送し、右大腿骨転子部骨折の診断を受け手術となった。9/14にリハビリ目的で栃内第二病院へ転院となる。（行政報告終了）		

92歳	女性	介護度2	左大腿骨頸部骨折
発症・詳細	令和3年12月26日、「立ち上がれません」とコールあり、訪室するとベッド脇の床に膝を曲げて倒した状態（横座り）で座っているところを発見する。左大腿部付近に痛みのお訴えあり、岩手医科大学附属病院へ搬送となる。左大腿骨頸部骨折の診断を受け手術となる。1/11 リハビリ目的にて栃内第二病院へ転院となる。（行政報告終了）		

70 歳	男性	介護度 2	右大転子部骨折
発症・詳細	令和4年3月25日、本人様より、「昨日の夕方、トイシで転んだんだよ。」と話される。後頭部と腰をぶつけたようで、「後頭部が痛い」との訴えあり、疼痛部の確認行くと、腰部～腸骨部に痛み訴えがあり盛岡市立病院へ搬送となり、右大転子部骨折と診断を受ける。盛岡市立病院で手術し、3月29日リハビリ目的で栃内第二病院へ転院。現在リハビリ実施中で馬蹄型の歩行器使用しながらの歩行が出来ている状態。（行政報告終了）		

【第2種社会福祉事業】

・松実会指定通所介護事業所

【事業目標に対する評価】

事業目標	事業方針	評価
住み慣れた地域で生活が継続できるように、より身近にサービスを提供します。	① 利用者様の在宅における自立と身体機能維持を目指します。 ② 利用者様が安心してサービスが継続できるようにご家族、地域、関係機関と定期的運営推進会議を開催し、情報を共有しながら連携を図り、より地域性を構築していきます。 ③ デイサービスを利用することで生活に張りを持ち、過ごせるように支援します。	① 感染対策を行い外出訓練を行った。制限がある中でも身体機能の維持ができた。 ② ご家族様と情報を共有し連携がはかれた。運営推進会議の1回目は短時間の開催、2回目は近隣で感染があった為、書面開催とした。地域との情報共有ができ、意見等頂くことができた。 ③ デイサービスを利用することで社会との交流の場を提供できた。

(1) 通所介護目標への取り組み

目標利用者を1日平均10人に設定して活動しましたが、新型コロナウイルスの感染対策等で、利用者様の体調や県外在住の方との接触等で利用日の変更などで利用回数が減少したりしました。空きがある際は希望利用者様にお声がけを行い利用につなげました。前年度と比べると0.7人増の一日平均が8.7名となりました。

期中実績 期中実績 期中1日平均通所利用者人数 … 8.7人（前年度実績 8.0人/日）
 期中1ヵ月平均通所利用者延人数 … 187.5人（前年度実績 171.3人/月）

利用状況 通所介護事業
サービス全体

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	22	21	22	22	22	22	21	22	21	20	20	23	21.5
要支援 1	7	8	8	7	5	4	4	5	4	4	3	8	5.6
要支援 2	22	18	25	23	27	24	26	19	15	18	17	10	20.3
要介護 1	29	42	46	46	52	69	61	58	56	47	57	75	53.2
要介護 2	79	73	66	75	82	85	70	95	88	73	77	80	78.6
要介護 3	18	14	18	18	17	17	23	18	17	16	14	17	17.3
要介護 4	14	10	13	14	13	13	13	13	12	12	11	13	12.6
要介護 5													
利用者実人数	24	27	25	26	28	29	29	29	28	26	28	26	27.1
利用者延人数	169	165	176	183	196	212	197	208	192	170	179	203	187.5
1日平均	7.8	8.1	8.0	8.3	8.9	9.6	9.4	9.5	9.1	8.5	9.0	9.0	8.7

(2) 活動の基本方針

目標達成に向けて次の方針に基づき活動した。

- ① 介護サービスの提供に当たっては、懇切丁寧に行うことを旨とし、利用者様、ご家族にサービスの提供方法等について理解を得られるよう説明を行う。
- ② ケアプランナーに対して利用者様の状況等情報を還元する。
- ③ 通所介護職員全員による接遇対応の学習会を行い、介護技術等の向上を図る。
- ④ 地域内、近隣市町村の通所介護事業者及び居宅介護支援事業者との連絡、交流を緊密に図る。

(年間行事)

実施月	行事名	行事内容
4月	お花見ドライブ	外出機能訓練の一環としてお花見を行いました。コロナ禍という事で少人数で何日間に分けて行い、サクラを観賞していただきました。
5月	運動会	紅白の組に分かれ、5種目の競技を行い点数を競い合いました。
7月	ケアハウス GOGO 屋台村	ケアハウス行事である屋台村に参加させて頂き、焼きそばやフランクフルトなど、屋台引換券で交換し昼食時にお召し上がりいただきました。また職員のさんさ踊りも鑑賞していただきました。
8月	枝豆収穫祭	ケアハウス敷地内の畑で採れた枝豆を利用者様に収穫していただき、おやつ時にお召し上がりいただきました。
9月	歳祝い者の記念撮影会	感染予防対策の為に集合行事にせず、個別に利用者様全員にお化粧をし写真撮影を行いました。写真と一緒に記念品の贈呈をし、職員のお祝いの音頭上げも披露しました。
11月	焼き芋作り	ケアハウス敷地内の畑で利用者様にさつま芋を収穫してもらい室内で焼き芋をつくり美味しくいただきました。
12月	クリスマス忘年会	栄養課に一週間ケーキを依頼し召し上がっていただきました。職員が出し物を日替わりに行い利用者様と一緒に楽しく一年を振り返りました。

【その他の行事】

各月で誕生会の実施

(3) 地域と交流促進

ボランティアとの親交や、地域との交流促進への取り組み

実施月	団体名	内 容
7月	地域包括支援センター・町内会長・老人クラブ会長・利用者ご家族代表	コロナ禍での事業報告、令和2年度事業報告、令和3年度事業計画について報告させていただきました。
11月	すご保育園年少消防クラブ	防災ポスターをいただきました。
1月	地域包括支援センター・町内会長・老人クラブ会長。利用者ご家族代表	近隣の感染拡大のため、運営推進会議の開催を書面開催とさせていただきました。
1月	巣子保育園担当者	みずき団子飾りをいただきました。

(4) 研修報告

施設内研修

ケアハウス内部研修と同じ

施設外研修

実施月	研修名	主催者	参加人数
5月	虐待防止研修	岩手県社会福祉事業団	2名
6月	入浴加算Ⅱセミナー	(株)フリーケア	1名
7月	バーサルインデックス(オンライン)	(株)フリーケア	1名
8月	認知症介護研修(オンライン)	社会福祉法人・東北福祉会	1名

【公益事業】

・介護付ケアハウス巣子事業(特定施設入居者生活介護)

(1) 事業目標/方針

事業目標	事業方針	評価
特定施設サービス計画に基づき、利用者様各々の個別ニーズを把握し、その方らしくやすらぎのもてる安心した生活が維持できるよう支援致します。	① 利用者様の意思を確認し、機能訓練を実施して残存機能の維持・向上に努めます。 ② 利用者様のニーズに寄り添った行事・レクリエーションを企画して、日常生活の中に楽しみ生きがいを持って頂けるように努めます。 ③ 関係市町村、他の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り総合的なサービスの提供に努めます。	① 利用者一人一人の状態に合わせた機能訓練を実施することができたが、加齢やコロナ禍での外出頻度減少により、全体的に残存機能の向上は出来なかった。次年度は機能訓練の機会を増やし、残存機能の向上を図る。 ② コロナ禍で縮小とはなったものの、施設行事、レクを実施することができた。入居者様も集まる機会が減ったが、参加者は笑顔で楽しむことができた。 ③ 外部の関係機関との連携を図り情報の共有をしながら、サービス提供を実現することができた。また、滝沢市より介護相談員の訪問(オンライン)を受け入れ、外部からのご意見や情報交換を行った。

(2) 入居者の推移 (各月初め平均利用者数)

入居者定員数 (30名)

コロナ禍の為、県外の家族様とのやり取りに時間を要することがありましたが、待機の利用者様をスムーズに入居に向けて進めることができました。

入居者の推移 (各月初め利用者数) 介護付ケアハウス

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
男	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5.9
女	24	24	24	24	24	24	24	23	24	24	24	24	23.9
計	29	30	30	30	30	30	30	29	30	30	30	30	29.8
内、入院者	2	2	1	0	1	1	2	0	1	1	1	1	1.1

出身地別内訳 (令和4年3月末現在)

計30人 【県内】盛岡市7人、滝沢市15人、八幡平市3人、宮古市3人、岩手町1人、一関市1人

(3) 入居者の要支援・要介護の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
要介護1	282	341	330	341	341	330	310	313	341	310	252	279	314.2
要介護2	390	403	425	465	465	450	480	450	403	416	364	410	426.8
要介護3	90	93	90	93	93	90	93	90	124	142	168	162	110.7
要介護4	99	93	51	31	31	30	31	30	62	62	56	62	53.2
要介護5													
計	861	930	896	930	930	900	914	883	930	930	840	913	904.8
平均介護度	2.0	1.9	1.9	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.9	2.0	2.0	2.0	1.9

(4) 入退居の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居計	2		2					1				1	6
退居計	1		2				1					1	5
備考	(退居内訳)					(平均年齢)							
	死亡					1	87.5歳						
	長期入院					2	※男女別	男	85.0歳				
	他施設					2		女	90.0歳				
	家庭復帰						(入所待機者)						
	その他						6人						
合計						5							

(5) 提供サービス充実への取り組み

- ① 介護サービス内容について、利用者満足度調査を早期に実施することで、サービス内容の見直しを図り、利用者様のニーズに添えるサービス内容を提供する事が出来ました。
- ② 事業から生じた剰余金は、社会福祉事業へ6,000,000円の繰入を行った。

・松実会指定居宅介護支援事業

【事業目標に対しての評価】

事業目標	事業方針	評価
<p>利用者様、ご家族の在宅における生活意向を考慮したケアプランを作成する</p>	<p>① 利用者様に対し、個々の解決すべき課題、その心身の状況や置かれている環境等に応じて、保健・医療・福祉にわたる指定居宅サービス等が、多様なサービス提供主体により、総合的かつ効率的に提供されるよう努める。</p> <p>② 利用者様やご家族からの相談、依頼があった場合には、利用者自身の立場に立ち、住み慣れた地域で日常生活を営むことができるよう、利用者や家族の意向をもとに地域資源も考慮したケアプランの原案を作成する。</p> <p>③ 利用者様及びご家族自らの選択に基づき、適切な保健・医療・福祉サービスが提供されるよう努め、利用者本位、公正中立な立場での業務を実施する。</p>	<p>① 目標を意識して、アセスメントの上、利用者・家族の意向を考慮したケアプランの作成を実施した。サービスの選択及び推薦に際しては、公正中立な立場での業務を実施し、医療との連携にも積極的に取り組むことができている。</p> <p>② 地域包括ケアシステムを意識し、地域力を考慮したケアプランの作成に努めている。今後も社会資源把握に取り組みながら、地域との連携に努める必要があると思われる。</p> <p>③ 利用者様本位、公正中立な立場での業務実施に努め、適切なサービスへのアプローチを実施している。</p>
<p>ケアマネジメントの質の向上を図る。</p>	<p>① 計画的に外部・内部の研修に参加し知識・技術の習得を行う。</p> <p>② 苦情・要望等には苦情窓口を設け事実確認、改善の検討を行い、ケアマネジメントの質の向上に努める。</p> <p>③ 主任ケアマネージャーは、当事業所だけでなく、地域のケアマネの人材育成に協力する。</p> <p>④ 24時間連絡体制を確保し、必要に応じて利用者、ご家族からの相談に対応する。</p>	<p>① 外部・内部の研修に積極的に参加し、知識・技術の向上に努めている。</p> <p>② 苦情案件無し。要望には、傾聴することで関係を回復し、支援継続している。</p> <p>③ 主任ケアマネージャーとして合同勉強会を開催し、地域のケアマネの人材育成に取り組んでいる。</p> <p>④ 当番制で24時間連絡可能な携帯を受け持ち、対応している。</p>
<p>市からの委託業務を行い、また地域包括支援センターと連携し、地域に貢献する事が出来る。</p>	<p>① 滝沢市内在住の高齢者の心身状況や家庭環境について、潜在的な問題、ニーズ等を把握し介護予防の対応に努める。</p> <p>② 介護相談を随時、受け「地域包括支援センター」との連携を図る。</p> <p>③ 認定調査や介護予防支援事業を行うとともに、順次移行する事業へ対応し地域包括ケアシステムの構築へ貢献する。</p>	<p>① 地域の情報収集に努め、適時介護予防の対応に努めている。</p> <p>② 地域包括支援センターと連携し、適時同行訪問や情報交換等を行っている。</p> <p>③ 滝沢市や他の市町村からの委託依頼を受け、認定調査や支援事業を実施し、地域包括ケアシステムの構築に貢献している。</p>

(1) ケアプラン作成目標への取り組み

期中のケアプラン作成目標件数を1ヵ月 198 件に設定し、これに取り組んだ結果、目標には達している（月平均 204.6 件）。

利用状況 居宅介護支援事業

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
ケアプラン作成件数	205	196	195	200	210	220	210	207	210	199	203	200	204.6
新規	5	3	5	9	9	7	2	4	8	9	4	6	5.9
中止	3	3	6	4	0	1	2	3	3	8	8	7	4.0
終了	2	5	6	3	5	3	8	5	5	6	2	6	4.7
認定調査	1	6	8	1	6	2	4	5	2	6	2	10	4.4
平均介護度	1.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.8	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.7

(2) ケアプラン作成の基本方針

ケアプラン作成に当たっては、「その利用者が可能な限り自宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう配慮する」という基本方針に基づき、利用者及び家族の要望を尊重して作成した。

(3) 研修報告

施設内研修

ケアハウス内部研修と同じ

施設外研修

実施月	研修名	主催者	参加人数
4月	要介護認定調査員研修（オンライン）	岩手県保健福祉部長寿社会課	1名
5月	岩手県介護支援専門員更新研修課程Ⅰ①	岩手県いきいき支援財団	1名
6月	岩手県介護支援専門員更新研修課程Ⅰ②		
7月	岩手県介護支援専門員更新研修課程Ⅰ③		
12月	主任介護支援専門員向けフォローアップ研修「援助力を高める事例検討会」（オンライン）	盛岡地区介護支援専門員協議会	2名
	家族介護者の仕事と介護の両立支援・LIFE データを居宅介護支援に活用する（オンライン）	岩手県介護支援専門員協議会	2名
	第1回滝沢市居宅介護支援事業所等情報交換会「認知症ケアパス更新」（オンライン）	滝沢市地域包括支援センター	3名
1月	感染症対策研修会（オンライン）	岩手県県央保健所	1名
3月	第2回滝沢市居宅介護支援事業所等情報交換会「公共交通の現状と滝沢市の交通政策について」（オンライン）	滝沢市地域包括支援センター	3名
	高齢者の服薬の注意点と介護支援専門員と薬剤師の連携 精神疾患患者との関わりについて（オンライン）	岩手地区介護支援専門員協議会	3名
	これからの介護保険制度 個人情報保護法、職業倫理と法令順守 認知症（オンライン）	株式会社サンメディカル	1名

令和3年度 松実会地域包括支援センター事業実績報告書

1 総合相談支援、権利擁護

○受付形態（延件数 件）

来所	68
電話	306
訪問	629
F A X	1
メール	0
その他	8
合計	1012

○消費者被害への対応 217世帯 294人
（安全安心協力センター「声かけ活動」報告件数）

2 包括的・継続的ケアマネジメント

○主催（北部地域ネットワーク会議） 計 2 回

日時	場所	内 容	参加人数
6月23日	葉の木沢山活動センター	介護事業所、関係機関との情報交換事例検討	14名
12月15日	葉の木沢山活動センター	口腔ケアについて 講師：小野寺圭子氏	9名

○参加 計 4 回

会議・研修名	開催月	場所	内 容	参加者数
滝沢市地域ネットワーク会議	4月	ビッグルーフ滝沢	市社協の事業内容説明 情報交換	1名
地域福祉勉強会	5月	市民福祉センター	庁内関係課等に係る勉強会	3名
滝沢市内居宅介護支援事業所等情報交換会	6月・3月	市役所 オンライン	オンライン開催の会議や 研修への参加方法等 公共交通の現状と滝沢市の交通性悪について	4名
滝沢市地域ネットワーク会議	10月	市役所	チームオレンジの活動	1名

3 地域ケア会議

○主催（地域ケア個別会議Ⅰ） 計 2 回

日時	場所	内 容	参加人数
10月13日	葉の木沢山活動センター	提出事例：こもれび居宅 小野主任CM 『アルコールによる自己管理不良のケース』	19名
2月16日	葉の木沢山活動センター	提出事例：松実会居宅 大沢主任CM 『家族関係を起因とした支援停滞ケース』	15名

○主催（地域ケア個別会議Ⅲ） 計 2 回

日時	場所	内 容	参加人数
1月19日	こんのクリニック	H氏に関わる主治医、事業所間の情報共有	7名
2月16日	葉の木沢山活動センター	徘徊・保護を繰り返す認知症の高齢夫婦の支援について	11名

○参加 計 8 回

会議・研修名	日時	場所	内 容	参加者数
滝沢市地域ケア個別会議Ⅰ	5月19日	オンライン参加	高齢者世帯の事例検討	3名
仕事力アップセミナー	5月19日	市役所	認知症支援	1名
	7月14日	市役所	認知症支援	1名
	9月15日	ふるさと交流館	医療介護連携	1名
	11月17日	市役所	口腔ケアについて	1名
	1月19日	市役所	チームオレンジについて	1名
	3月16日	市役所	効果的なりハビリの為の栄養アセスメント	1名
滝沢市地域ケア推進会議	11月17日	市役所	滝沢市地域ケア会議の体制、地域課題等	1名

4 生活支援体制整備

○主催 計 2 回

会議・研修名	日時	場所	内 容	参加人数
第2層協議体検討会	12月6日	北部コミュニティセンター	行政説明・講演 グループワーク	24名
第2層協議体検討会 (柳沢中学校区)	2月5日	柳沢地区コミュニティセンター	生活体制整備事業について	7名

○参加 計 21 回（連絡会や、ワークショップ、情報交換会等）

会議・研修名	開催月	場所	内 容	参加人数
中部地区これからカフェ	6月	ビッグルフ滝沢	事業説明 グループワーク	1名
生活支援コーディネーター連絡会	6月～3月 (計5回)	市役所分庁舎	活動報告	延8名
地域の担い手養成講座	6月・7月 (計2回)	ビッグルフ滝沢	地域の担い手養成研修 山形県の取組み紹介、 地域の未来像、	延4名
生活支援コーディネーター養成研修	7月	アイーナ	生活支援について他県事例紹介等	1名

生活コーディネーター研修	10月	オンライン参加	生活コーディネーターフォローアップ	1名
生活支援体制整備事業説明会	10月	北部コミュニティセンター	市から北部民生委員へ説明	2名
地域の担い手ワークショップ	10月～2月 (計5回)	分庁舎 市役所	ワークショップ (オンラインの月有)	延5名
岩手県生活支援コーディネーター連絡会	11月	アイーナ	実践事例発表・情報交換	1名
滝沢市地域支えあい連絡会 (第1層協議体)	11月・2月	市役所	当該事業の今後について ワークショップ・第2層協議体開催状況報告 スローガンの検討等	延3名
地域づくりによる介護予防 推進支援情報交換会	2月	オンライン参加	研修(コロナ禍における活動について)・情報交換	1名

5 認知症総合支援

○主催(サポーター養成講座) 計 6 回

日時	場所	対象・内容	参加人数
7月28日	ひかりの森学童クラブ	対象：学童クラブ利用の児童	26名
7月30日	ケアハウス巣子	対象：施設内職員 ※松実会地域包括支援センター企画型	10名
11月17日	滝沢東小学校 (クラブハウス)	対象：5年生	50名
11月18日	県立大学社会福祉学部 (第6研修室)	対象：社会福祉学部1、2年生希望者	13名
11月25日	盛岡農業高校 (視聴覚室)	対象：人間科学科2年生	24名
12月17日	県立大学共通棟 (第6研修室)	対象：社会福祉学部1年希望者	16名

○参加(認知症カフェ) 計 10 回 認知症地域推進員参加

会議・研修名	日時	場所	内容	参加人数
時計屋カフェ	6月16日 7月7日	和田時計店	情報交換等	1名
オレンジカフェ	10月30日	結の蔵	情報交換	2名
留守番カフェ	12月15日	和田時計店	認知症カフェ・交流会	1名

チームオレンジ カフェドたきざわ	1月～3月 (計6回)	ふるさと 交流館 分庁舎 ビッググループ 滝沢	認知症カフェ (打ち合わせ含)	延7名
---------------------	----------------	-------------------------------------	--------------------	-----

○参加（ネットワーク構築等） 計 36 回

会議・研修名	日時	場所	内容	参加人数
認知症介護家族のつどい	5・6・7 10・11・12 1・2月	市民福祉 センター	情報交換等	各回 1～2名
認知症サポーター養成 講座(市主催)	6月15日 6月23日 11月10日 3月14日	市役所 鵜飼小学校 ふるさと 交流館 分庁舎	対象:庁内職員(希望者) 対象:2年生 対象:市内の保健推進員 公開講座	4名 1名 1名 2名
認知症初期支援チーム 研修会	6月24日	公民館	研修会伝達	3名
認知症サポーターステ ップアップ講座 (1)(2)(3)	7月1日 7月8日 7月19日	市役所 ビッググループ 滝沢 市役所	行政説明、講話「認知症の理 解を深める」 認知症声掛け訓練 グループワーク 「認知症にやさしいまちにつ いて考える」	1名 1名 1名
オレンジコーディネータ ー養成研修	7月15日	矢巾町公民館	チームオレンジについて	1名
認知症地域推進員養成 講座	8月3～4日	水産会館	認知症地域推進員の 役割等	1名
チームオレンジワーク ショップ	8月～11月 (計9回)	ビッググループ 滝沢 分庁舎 市民福祉 センター	グループワーク「やってみ たい活動やイメージ」 活動内容について等	各回1名
キャラバンメイト養成 研修	10月19日	ふれあい ランド	キャラバンメイト養成	1名
岩手県生活支援コーデ ィネーター連絡会	11月24日	アイーナ	事例紹介、助け合い地域づ くりの進め方	1名
チームオレンジ	12月21日 1月27日	ビッググループ 滝沢 分庁舎	オレンジサミット準備 定例会	1名 1名
オレンジサミット	12月22日	ビッググループ 滝沢	認知症カフェ・講演会 結成式等	5名
ケアパスについて	1月11日	市役所	ケアパス内容見直し	1名

認知症地域支援連絡会	1月13日	アイーナ	事例紹介・情報提供	1名
岩手県地域包括ケア研修	1月17日	アイーナ	基調講演 パネルディスカッション	1名
認知症まちかど相談室 打ち合わせ会	3月14日	分庁舎	情報共有	1名

6 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント

	介護予防支援事業		介護予防ケアマネジメント		計	
	基本	初回	基本	初回	基本	初回
包括	233	21	337	37	571	58
委託	480	62	643	70	1124	132
計	713	83	980	107	1695	190

7 その他

○主催（家族介護者教室） 計 2 回

日時	場所	内容	参加人数
10月30日	葉の木沢山活動センター	お薬の管理について 講師：大釜薬局 管理薬剤師	12名
1月22日	葉の木沢山活動センター	『冬場を元気で安全にお過ごしいただくために』講師：作業療法士	11名

○その他（会議等）

会議・研修名	開催月	場所	内容	参加人数
今が一番館運営推進会議	偶数月 (計6回)	葉の木沢山活動センター	活動報告、利用者様子、身体拘束廃止、広報活動報告、事故報告、外部評価について	延6名
まごのて運営推進会議	偶数月 (計6回)	ケアホームまごのて	活動報告、利用者の様子、コロナ感染症対策 身体拘束廃止	延6名
にこにこりはびりデイサービス菓子る〜む運営推進会議	12月24日	サービス事業所	運営状況等	1名
滝沢市包括との合同定例会議	各月開催 (計12回)	ケアハウス又は市役所	月次報告、総合相談の対応状況等について	各回2名から5名参加
滝沢市在宅医療・介護連携会議	9月	ふるさと交流館	在宅医療介護連携推進事業について	1名

滝沢市社会福祉協議会 生活困窮者自立相談 支援事業支援調整会議	9月 10月	市役所	生活困窮者自立相談 支援事業の実施状況	1名 2名
滝沢市高齢者保健福祉 協議会	10月	市役所	市福祉計画について	1名
いきいきライフを 語る会	11月	市役所	第8期福祉計画について	1名
滝沢市議会事務局環境 厚生常任委員会懇談会	12月	市役所	地域包括支援センターの運 用について	1名

○その他（研修等）

会議・研修名	日時	場所	内容	参加人数
身寄りのない方への身 元保証、生活支援等の セミナー	4月23日	ビッググループ	身元保証等の必要性、生 涯にわたる支援や具体的 サービス提供の取り組み について	1名
	4月27日	滝沢 西部公民館		1名
岩手県地域包括支援 センター職員初任者 研修	5月26～27日	岩手県高校 教育会館	地域包括支援センターの 目的・役割・各種業務内 容について	2名
主任介護支援専門員 更新研修	9月27～29日	ニューカリー ナ・アート ホテル	振り返り、指導及び地域作り	1名
ACP研修	9月29日	ふるさと 交流館	岩手県医師会の取組	1名
岩手県ケアマネ支援 センター事例研修	10月4日	ふれあい ランド	ケアマネ相談事例内容紹 介	1名
介護支援専門員研修 （専門Ⅱ）	10月～11月	サンビル	介護支援専門員更新Ⅱ	1名
主任介護支援専門員 研修	10月～12月	サンビル	主任介護支援専門員 初任者研修	1名
成年後見制度促進 フォーラム	11月8日	オンライン 参加	成年後見制度の現状と促 進について	2名
全国地域包括・在宅介 護支援センター研修会	11月12日	オンライン 参加	地域包括ケアシステムにつ いて	4名
	3月14日		厚生省より行政説明 BCP作成と演習	1名
国保連・苦情相談研修	11月26日	オンライン 参加	国保連で受け付けた 苦情について	1名
東北ブロック 地域 包括・在宅介護支援 センター職員研修会	12月7日	分庁舎	介護保険20年評価と展望	4名
地域包括支援センター 社会福祉士情報交換会	12月18日	ビッググループ 滝沢	情報交換会	1名

北部圏域地域包括支援センター研修会	1月20日	市役所	地域包括支援センターの役割・業務について	2名 オンライン：2名
地域づくりによる介護予防情報交換会	2月9日	オンライン参加	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について	1名
令和3年度支え合いマップ取り組み検討会 (岩手県社協)	3月23日	オンライン参加	取り組み発表・講義	2名

○その他（参加等）

会議・研修名	日時	場所	内容	参加人数
家族介護者教室 (市主催)	10月25日	ふるさと交流館	市内施設説明会	2名
キャップハンディ体験教室	10月15日	盛岡農業高校	白杖体験	1名
	10月19日	岩手県立大学	キャップハンディ体験	1名
	11月24日	滝沢第二小	白杖体験の支援	1名
民生委員情報交換会	3月4日	川前地区コミュニティセンター	情報共有	4名

8 総評

地域包括支援センターを開所し、4月・5月は介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントの引継ぎ、契約等や関係各機関へのあいさつ回り等落ち着いた状況のうえ、新型コロナウイルスも感染拡大傾向の中、様々な計画や会議等延期や中止を余儀なくされ困難な中での事業展開であった。

初めて行う様々な業務も市包括支援センターをはじめとした関係各機関のご指導やご助言を頂きながら、受託業務であるネットワーク会議（2回）、地域ケア会議Ⅰ（2回）、家族介護者教室（2回）、認知症サポーター教室（6回）、適宜行う地域ケア介護Ⅲ（2回）等、滞りなく実施できたことは一定の評価ができると考えている。

1年間包括支援センターを稼働してみて、まだまだ地域の方々へ周知されていないことや何を支援してくれるセンターなのかわからないという声もあり、広報の仕方についても検討していきたい。一方で「近くに包括支援センターが出来てとても良かった。」「身近に相談できる。」と、うれしい声もあった。今後も地域包括支援センターとしての役割を担えるよう研鑽していきたい。

【特別養護老人ホーム麗峰苑拠点区分】

【第1種社会福祉事業】

・特別養護老人ホーム麗峰苑事業

事業目標に対しての評価

事業目標	事業方針	実績・評価
利用者様一人ひとりの個性や生活リズムを尊重したケアを目指します。	① 利用者様の心の痛み、心の満足という感情に寄り添ったケアの実現を目指します。 ② 利用者様の出来る事・やりたい事を「24時間シート」に位置づけ、継続性を重視したサービスの提供に配慮する事を心がけ、実践する事で「望む暮らし」から「その人らしい生き方」の実現を目指します。 ③ 利用者様一人ひとりのニーズと意思を尊重し、残存機能の活用を図り自律的な生活の機会を得られるように努めます。 ④ 感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築します。	・業務の体制作り及び分担を見直し、担当の細分化などを通じて、寄り添えるユニットケアを目指し介護サービスの取り組みを重点的に行った。 ・身体拘束及び高齢者の権利擁護に重点を置き、家族の同意を得ながら検証を行ない、また関係機関と連携をとりながら、毎月、研修と委員会を通じて、全スタッフへの意識付けや日常の中での業務の点検や見直し等の取り組みを行なった。 ・感染症対策については、新型コロナウイルス感染予防対策に重点を置き、施設内感染の蔓延の防止、手洗い・うがいの徹底、マスク着用の徹底、持ち込み物への注意等、職員へ注意喚起の促しを実践した。
地域福祉・地域活動に積極的に関わりを持ちます。	① 積極的に保育園・小学校・中学校・高校等の発表の場や体験の場を目指します。 ② 認知症カフェ実施の継続に生活リハビリを取り入れ、地域で暮らし続ける為のサポート体制としてのカフェを目指します。 ③ ゲートボール場の地域への開放及び麗峰苑杯の開催を実施します。	令和2年度同様に、新型コロナウイルス感染予防の観点から、地域福祉活動全般において、ほぼ実現できず、地域住民等との関わりを持つことができず、残念な結果となった。令和4年度も新型コロナウイルスの状況を見ながら柔軟に対応していく。
職場の働きやすさと働き甲斐を追求した職場環境の確立を目指します。	① 職員研修の内容の充実とキャリアパス体制の実践を図り、介護プリセプター制度導入により、職員の離職防止に努めます。 ② 職業性ストレスチェック制度の実施を図り、高ストレス者の産業医面談の実施を図るなどし、職員が安心して働ける施設環境に努めます。 ③ 介護ロボット導入により、充実	・新型コロナウイルスの影響で外部研修への参加は思うようになかったが、その分、充実した施設内研修を行うことができた。職員のスキルアップはもとより、介護離職防止にも繋がっている。また年間研修計画を立てて施設内研修や勉強会の開催、外部講師による講習会等で全スタッフの技術や知識、態度の向上を図るべく、全スタッフ参加型の取り組みを行ってきた。職

	<p>した活用の実施を図り職員の不安やストレスの軽減を図ります。</p> <p>④ 働き方改革による、年次休暇について職員の理解と協力の下、公平・確実に取得の実施を図ります。</p>	<p>員皆がより良いサービス提供への意識向上がみられ、今後も継続して行きたい。</p> <p>・安全衛生委員会を中心に、職場の労働環境の安全、衛生、環境の改善、疾病予防に努めた。</p>
各委託事業を推進し地域に貢献する事を目指します。	<p>① 八幡平市「介護支援ボランティアポイント事業」の促進を図り地域住民の介護予防を支援します。</p> <p>② 介護の実践的な知識と技術習得の為、「介護福祉士（通信コース）実務者研修のスクーリング実施会場の指定を受けた事に伴う、会場や講師の協力体制を致します。</p>	<p>・新型コロナ感染症防止の為、受け入れ中止とする。</p>

(1) 入居者の確保への取り組み

入居者定員数（60名）の維持確保に取り組んだ結果、月平均 59.7 名の実績を得た。

入居者の推移（各月初め入居者数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
男	18	18	18	18	18	19	19	18	18	18	17	18	18.0
女	42	40	41	42	42	41	41	42	42	42	43	42	41.6
計	60	58	59	60	60	60	60	60	60	60	60	60	59.7
内、入院者	2	3	3	3	3	6	3	5	4	4	4	2	3.5

出身地別内訳（令和4年3月末現在）

計 60 人 盛岡市 3 人、岩手町 12 人、八幡平市 39 人、滝沢市 4 人、二戸市 1 人、一戸町 1 人

(2) 入居者の要介護の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
要介護 3	180	217	210	217	217	210	217	230	232	279	224	248	223.4
要介護 4	690	682	660	680	682	660	745	720	767	775	758	868	723.9
要介護 5	930	961	930	961	961	926	922	848	746	721	672	744	860.2
計	1,800	1,860	1,800	1,858	1,860	1,796	1,884	1,798	1,745	1,775	1,654	1,860	1807.5
平均介護度	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.2

(3) 入退居の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居計			3	2	2	2	2	1		1	3	1	17
退居計		2	2	1	2	2	2	1		1	3	1	17
備考	(退居内訳)						(平均年齢)						
	死亡			2			3			87.1 歳			
	長期入院			3			9			※男女別			
	他施設									男			84.4 歳
	家庭復帰									女			89.8 歳
	その他									(入居待機者)			
合計			5			12			38 人				

(4) 提供サービス充実への取り組み

施設理念に基づいて「やさしい施設を目指して」を念頭に置き、ご利用者が「安全」かつ「安心」した生活を送ることを第一に考えた取り組みを通して、職員に何が求められているのか、何を提供すべきかを職員個々が考え行動してきた。具体的な取り組み重点項目として、①ご利用者が「安全」かつ「安心」して楽しく過ごせる環境づくり、②職員の質の向上、③個別ケアの取り組み、④地域・ボランティアとの関係、関わりの強化、⑤利用率の向上、以上5つの取り組みを重点的に行った。概ね実践できた中で、新型コロナウイルスに伴い、地域及びボランティアと関わりに関しては、ほぼできない状況であった。新型コロナウイルスに関しては、令和4年度も引き続き、十分な感染対策を講じ、ご利用者が安心できる暮らしの提供に努めるよう心掛けていく。

(年間行事)

実施月	行事名	内 容
4月	麗峰苑大学入学式	顔写真入りの学生証を発行し、ご利用者の入学式を実施
	開設18周年記念行事	施設の開設記念のお祝い
5月	たんぼぼ農園開園式	施設農園で野菜を育てる楽しみを感じていただく
7月	たんぼぼ縁日	例年の夏祭りを中止し、利用者・職員で縁日を開催
9月	カレー作り	食材を切る、炒める、煮る、味付けなどの一連の流れをする事で機能訓練となり、誰かに食べてもらう事で喜びを感じていただく
	長寿を祝う会	ご長寿をご入居者・職員皆でお祝い。記念者には写真撮影を行い、後日ご家族に郵送にて記念写真をお送りした
10月	焼き芋	農園で収穫したサツマイモを屋台風にして各ユニットを回り収穫の喜びと一緒に味わった
	大地みのりの会	農園の収穫の喜びを感じ味わった。また、スポーツレクを実施。
11月	出張出前寿司	「寿司の日」に合わせて寿司屋に行った気分を味わっていただく
12月	麗峰苑大忘年会	一年間の思い出をユニット毎のDVD作成し上映会。また事前に撮影した職員の余興で楽しんでいただく
	クリスマス会	クリスマスケーキを頂きながら、皆で楽しい時間を過ごす
	餅つき大会	昔ながらの風習を楽しみ、お正月を迎える喜びを感じていただく
1月	みずき団子作り	ミズキ団子を作成し、参加者全員で記念撮影を行う
	新年交賀会	職員が各ユニットを獅子舞に扮して邪気を払い、無病息災を祈りその後、和菓子で新年をお祝いする
2月	節分行事	鬼に扮した職員に落花生をぶつけて、邪気払う

(ユニット行事) ※誕生会は当該月日に実施している。

実施月	行事名	内 容
4月	駄菓子屋たんぼぼ	家族会から寄贈された移動駄菓子屋カートを利用し、ご入居者に駄菓子を配り、昔を懐かしんでいただく
	おいしんぼクラブ	ふきのとう、かにかま、はんぺん、サツマイモのてんぷらを作り、季節感を味わっていただく
5月	母の日感謝祭（七時雨）	日ごろの感謝の気持ちを込めてプリンアラモードを皆で頂く
	紙芝居（八幡平）	紙芝居をきっかけに昔ばなしで盛り上がる
6月	ひまわり植え（七時雨）	プランターにひまわりの種を皆で植える
	おいしんぼクラブ	たけのこご飯とてんぷらを振る舞い、季節感を味わって頂く
7月	手紙づくり（七時雨）	ご入居者がご家族へあてた手紙を作成する
	百賀のお祝い（八幡平）	100歳を迎えられるご入居者をユニットの皆でお祝いする
	生け花	かきに花をいけることで、芸術を味わっていただく
8月	花火大会（全ユニット）	正面玄関前でご入居者に花火を手にとっていただき、楽しんでいただく
	スイカ割り（岩手山）	夏の風物詩であるスイカ割りを行っていただき、夏を感じていただく
9月	手芸	慣れ親しんだ針と糸でポプリを作る
	カステラ作り	ユニットの皆で作れ、誰かに食べてもらう事で喜びを感じていただく
10月	紙芝居（七時雨）	紙芝居をきっかけに昔ばなしで盛り上がる
	自宅までのドライブ（八幡平）	ご本人の希望をお聞きし、負担を考慮した上で、ご自宅までのドライブを行う
	麗峰苑スポーツ大会	地域交流室で密にならないよう、時間をずらして各3競技を行う
11月	クリスマスツリー飾りつけ	クリスマスツリーの飾りつけを通して、季節感を感じていただく
	みたらし団子作り（岩手山）	ジャガイモを使用し、みたらし団子風お菓子を皆で作れ召し上がっていただく
	おやつ作り（姫神山）	バナナを使用し、ユニットの皆でお菓子を作る
12月	お鍋づくり（姫神山）	皆でお鍋を囲み、季節感を味わっていただく
	百一賀のお祝い（八幡平）	101歳を迎えられるご入居者をユニットの皆でお祝いする

	年賀状作り（七時雨・岩手山）	年賀状を作成し。家族や友人へお送りする
1月	新年のお祝い会食（七時雨）	ユニットを飾りつけし、昼食前には、お互い年頭のあいさつをするなどして馴染みの友人の集まりのような雰囲気の中、お祝い膳を食べる
2月	ミルク餅作り（姫神山）	バナナを使用し、ユニットの皆でお菓子を作る
3月	吊るし飾り作り（七時雨）	フェルトのいちごと花を入れ、吊るし飾りを作成する

(5) 地域と交流促進

ボランティアとの親交や、地域との交流促進への取り組み

実施月	団体名	内 容
6月	平舘高校 第一回学校運営協議会	学校魅力化促進に向けた地域での取り組みの話し合い
9月	平舘高校 第二回学校運営協議会	平舘高校の志願者増に向けての取り組みの話し合い
11月	平舘高校 「総合的な探求の時間」講演会	「老人ホームの日常 その先の死というもの」と題した講演会への参加
3月	八幡平市認知症初期集中支援チーム検討委員会	令和3年度活動報告及び実績報告令和4年度高齢者福祉計画案

(6) 研修報告

施設内研修

実施月	研修名	参加人数
4月	心理的安全性の重要性について	54名
	介護保険制度及び改正・加算等の仕組みについて	11名
	倫理及び法令遵守及び令和3年度施設事業計画説明会	44名
	施設従事者による身体拘束高齢者虐待とはなにか	41名
	コロナワクチン接種講習会	10名
	チームアプローチと多職種連携（岩手山ユニット）	10名
	プライバシー保護	24名
5月	身体拘束・高齢者虐待事例検討会	41名
	紫外線対策	53名
	介護職員の為の感染対策マニュアル	40名
	チームアプローチと多職種連携（姫神山ユニット）	10名
6月	身体拘束・高齢者虐待事例検討会	41名
	感染性胃腸炎	54名
	食中毒予防	13名
	消防火災訓練・緊急時連絡網模擬訓練	46名

7月	自律神経失調症	57名
	身体拘束・高齢者虐待事例検討会	44名
	チームアプローチと多職種連携（八幡平ユニット）	11名
	新型コロナウイルス感染症対策のポイント	47名
8月	腰痛予防のための移乗・福祉用具の練習会	33名
	脂質異常症	56名
9月	気づきの感性を磨く KYT 研修	49名
	認知症ケアのグレーゾーン（資料研修）	43名
	チームアプローチと多職種連携（看護職員）	5名
10月	ノロウイルス対策（汚物処理方法と正しい手洗い）DVD視聴	43名
	介護接遇研修（パート職員）	9名
11月	汚物の正しい処理方法	53名
	医療的ケア	41名
12月	コミュニケーション 報告・連絡・相談	41名
1月	メンタルヘルス及び利用者におけるプライバシー保護	8名
3月	介護事故安全対策委員会	36名
	介護現場での言葉使い（意識するポイント）	41名
	防災訓練	10名
	法人職員キャリアパス体系研修（パート職員）福祉施設職員としての接遇対応と認知症対応	8名

施設外研修

実施月	研修名	主催者	参加人数
4月	個別機能訓練の効果的な進め方	大起エンゼルヘルプ	1名
5月	産業医の活用セミナー	岩手産業保健総合支援セミナー	1名
6月	リスクマネジメント研修	MS&AD インターリスク総研(株)	1名
	パーソン・センタードケアを基盤とした認知症の人への理解	松下 太氏	1名
	虐待防止研修	岩手県社会福祉事業団	1名
7月	キャリアパス生涯研修過程 管理職コース	岩手県社会福祉事業団	1名
	QOL を高める口腔ケア	介護労働安定センター	1名
	介護事業者支援セミナー	介護労働安定センター	1名
	介護報酬対応安全対策担当者養成研修	全国老人福祉施設協議会	2名
	メンター制度で人を育てる方法	介護労働安定センター	1名
8月	人生としての介護職	介護労働安定センター	1名
	働き方改革の取り組み	介護労働安定センター	1名
	レクリエーション活動のポイント	介護労働安定センター	1名

9月	認知症の理解と対応	介護労働安定センター	1名
	嚥下・口腔ケアWEB研修	滝沢中央病院	1名
	BCP作成支援研修	岩手県社会福祉協議会	1名
10月	メンター制度の関する指導力向上	介護労働安定センター	1名
	新人職員が知っておきたいマナー	介護労働安定センター	1名
	岩手県医療的ケア研修	岩手県社会福祉協議会	3名
	認知症の理解と対応方法	認知症介護研修センター	1名
11月	介護事業支援セミナー	介護労働安定センター	1名
	甲種防火管理者新規講習	日本防火防災協会	1名
	介護福祉士実習指導者講習会	日本介護福祉士会	1名
	介護労働者雇用管理責任者講習	介護労働安定センター	1名
	介護保険事業者集団指導	盛岡広域振興局	1名
	アンガーマネジメント研修	介護労働安定センター	1名
	盛岡北部法人後見人連絡会	八幡平市	1名
12月	中央ブロック事務長等連絡会	中央ブロック高齢者福祉協議会	1名
	苦情解決情報交換会	福祉運営適正化委員会	1名
	認知症カフェの継続手法	認知症介護研修センター	1名
	認知症の理解と対応の基本	認知症介護研修センター	1名
1月	感染症対策研修会	岩手県央保健所	1名
	BCP作成セミナー	厚生労働省	1名
2月	介護職員の心構え	中央ブロック高齢者福祉協議会	1名
3月	HACCPに基づいた衛生管理	中央ブロック高齢者福祉協議会	1名

【事故報告】 1件：

92歳	女性	介護度4	右第6～10肋骨骨折
発症・詳細	<p>令和3年8月14日9:35 センサーコールありご自分でシルバーカーを押しして居室から出てきたので付き添い、トイレまで行き、女性トイレの中央の便座に座っていただくこと、シルバーカーから手を離し右手で手すりに握り、左手を反対の手すりに握まっていたこととしたとき、左手が手すりからすべり握まる事が出来ず、ご本人膝折れし、その場で回転し便座と壁の間に尻もちをつくように転倒してしまう。右脇腹を便座に、左頭部を壁にぶつけ、「少し痛い」と話している。臀部の痛みの訴えは無し。右脇腹と左頭部、赤みや腫れなどは無い。看護師連絡し、状態確認。湿布をはり様子を見る。家族様へも電話連絡済。8月16日痛みがまだあり、熱感、左右差みられたため、東八幡平病院受診。本日は検査ができないが、骨折の可能性が高いとの話があり、後日再度受診することとなる。その後8月17日再受診。レントゲンの結果、右第6～10肋骨骨折とのことで、入院となる。R3.8.17からR3.9.27まで入院（八幡平市へ報告済み）</p>		

【苦情】 なし

【第2種社会福祉事業】

・麗峰苑指定短期入所生活介護事業

【事業目標に対しての評価】

事業目標	事業方針	評価
在宅生活継続と自立の支援	①利用者様の在宅生活を尊重し、自宅での自立した生活が無理なく継続出来るように支援を行う。 ②在宅における介護者の介護力の維持を図るよう連携していく。	・在宅生活が継続できるようアセスメントを行い、施設での支援統一することで、帰宅しても無理なく生活できるように支援ができた ・レスパイトケアに伴う緊急ショート等の受け入れや利用者の希望に添ったサービス提供ができた
他者との交流にて楽しみを見出すことができるような支援	他の利用者様との触れ合いの中で、新たな趣味活動等を行うことにより、明日への楽しみを見出すことが出来る支援を行う。	・在宅生活では出来ない活動や他者との交流、行事参加等を通して支援することができた

(1) 短期入所事業の目標への取り組み

- ・入院で空いた居室を利用して短期入所を受け入れた結果、月平均 34.5 床の実績を得た。
(1年間の空きベッド総計 1,386 床に対し空床利用 415 床)

(2) 短期入所者の利用状況

利用状況 麗峰苑 短期(空床型)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
入院日数	71	85	152	81	122	139	125	105	114	193	115	84	1,386	115.5
短期日数	2		29	11	7	41	40	21	33	81	83	67	415	34.5
差数	69	85	123	70	115	98	85	84	81	112	32	17	971	80.9

(3) 提供サービス充実への取り組み

空床利用のため、居室の調整が難しい中、地域の介護支援専門員や病院、老人保健施設等と日頃から、ネットワークを構築すべき活動を行ってきた。地域にはショートステイ利用の需要も多いため、居室が空き次第、速やかな調整を図り、必要な方への早急な支援を心がけた。利用された方及びそのご家族からも、サービスについて満足される声を多数いただき、空床になるたびに、何度も利用されるご利用者も増えてきている。また、サービス調整を行う介護支援専門員からも好評を得ている。地域にショートステイサービスが不足している為、地域の一員として、空床利用ではあるが、引き続き地域に開かれたサービス展開を行っていく。

【公益事業】

・麗峰苑指定居宅介護支援事業

【事業目標に対しての評価】

事業目標	事業方針	評価
利用者や家族の在宅生活の支援に努めます。	① 利用者と家族との面談を通して、課題の把握とサービスの支援を適切に行う。 ② サービス提供事業所と情報を共有し、利用者の自立支援と介護者の介護負担の軽減が図れるように努める。	コロナの影響もあり、通常の動きに一部制限が見られたものの、ご利用者及びそのご家族の課題に向き合い、また他事業所とも円滑に連携することができ、ご利用者の望むサービスに繋げることができた
医療との連絡・連携に努めます。	① 在宅生活を継続できるよう、かかりつけ医との情報交換を行う。 ② 入院時、病院等への訪問や電話連絡にて必要な情報を提供する。 ③ 退院時、病院等に訪問し、カンファレンス等で必要な情報を収集し、在宅生活に戻ることができるようサービス調整等を行う。	コロナの影響でも、入院時、退院時においては、医療機関と迅速に情報交換をし、医療連携強化を実践した。医療機関と情報連携を行う事により退院後の生活において支障とならないように配慮することができた
介護支援専門員の質の向上に努めます。	① 高齢者支援全般に関する内外的な研修に参加し、相談支援できる知識の取得に努める。 ② 地域ケア会議に参加し、地域の困難事例の把握に努めるとともに、自立支援に資するケアマネジメントの実践力を高める。	地域ケア会議については、八幡平市全体会及び個別事例検討会に参加し地域の支援体制構築や困難事例解決に向け、地域ケアシステムの構築を図ることができた

(1) ケアプラン作成目標への取り組み

令和3年度のケアプラン作成目標件数を1ヵ月平均36件に設定し、これに取り組んだ結果、1ヵ月平均31.0件の実績となった。

利用状況 居宅介護支援事業

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
ケアプラン作成件数	29	31	32	31	31	32	32	32	32	30	32	32	31.0
新規		3	1			1					2		0.6
中止													0
終了	1			1						2			0.3
認定調査		1	1			2		2	2		1		0.7
平均介護度	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.1	2.1	2.0	2.2	2.1	2.0	2.1	2.1

(2) ケアプラン作成の基本方針

ケアプラン作成に当たっては、「その利用者様が可能な限り自宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう配慮する」という基本方針に基づきながら、「自己決定」「利用者様本位」を最優先し、利用者様及び家族様の要望を尊重して作成した。

(3) 委託業務

- 介護予防支援業務委託（八幡平市地域包括支援センター） 平均 6.0 件/月
- 要介護認定調査（盛岡市）2 件/年（北部行政事務組合）7 件/年

(4) 研修報告

施設内研修

実施月	研修名	参加人数
1 月	メンタルヘルス及び利用者におけるプライバシー保護	1 名

施設外研修

実施月	研修名	主催者	参加人数
6 月	令和 3 年度岩手県主任介護支援専門員更新研修	いきいき岩手財団	1 名
12 月	盛岡北部成年後見ネットワーク並びに法人後見体制	八幡平市地域包括支援センター	1 名

(5) 地域との交流促進

実施月	団体名	内容
新型コロナ感染防止対策の為、実施なし		

【特別養護老人ホーム繋松苑拠点区分】

【第 1 種社会福祉事業】

・特別養護老人ホーム繋松苑事業

【事業目標に対する評価】

事業目標	事業方針	評価
「サービスの質の向上」に向け、多職種連携を図る	① 自立支援に向けた取り組みを実施するため、個別の情報把握に努め、多職種連携を図る。 ② 入居者様が自己決定・自己選択できる環境を作り、主体的な暮らしが継続できるようにチームケアを推進する。 ③ サービスの質の向上の為、入居者様及びご家族様へ向けた「サービス満足度アンケート」を実施しニーズ把握に努める。	① 科学的介護情報システム「LIFE」を導入したことで、必然的に多職種連携を図ることができた。 ② 昨年度同様外出支援が難しい状況ではあったが、意向を尊重しながら自己決定等できる環境づくりを行い、チームケアの推進に取り組むことができた。 ③ 入居者様とご家族様へのアンケート調査を実施し、ニーズの把握とサービス向上に努めた。
地域の福祉の拠点となるよう、地域貢献活動に積極的にかかわる	① 地域の方々の集いの場となるように展望室等の環境を整える。 ② 家族会と施設の連携にて、地域福祉の推進及び施設の活性化を目	①②③ コロナウイルス感染拡大の影響もあり、地域の方への施設開放や家族会と連携しての施設の活性化等は出来なかった。また、地域ケア会議等もほ

(3) 入退居の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居計	3	1	2	2	4	3	2	3	0	3	1	5	29
退居計	3	1	2	2	4	4	1	3	0	3	1	5	29
備考	(退居内訳)						(平均年齢)						
	死亡			2		10	87.3 歳						
	長期入院			3		12	※男女別	男	84.6 歳				
	他施設					2		女	89.9 歳				
	家庭復帰						(入居待機者)						
	その他						40 人						
合計				5		24							

(4) 提供サービス充実への取り組み

施設理念に基づき入居者様個々の身体状況や精神状況、環境面を踏まえ多職種で連携して、生活の質の向上と自立支援に向けたサービス計画を作成し、入居者様の尊厳を尊重するよう以下の取り組みを行いました。

①食事サービス

○管理栄養士による管理の下、適時、適温、季節感の味わえる食事を提供しました。行事食は何時も好評でした。(食事時間は概ね朝食 8 時 00 分・昼食 12 時 00 分・夕食 18 時 00 分頃の提供で、おやつも楽しんでいただいております)

②入浴サービス

○一般浴室(温泉浴)・特別浴室・個別浴室(ユニット毎)での入浴を身体状況に考慮し個別に対応できました。温泉浴は常に好評です。

③生活支援サービス

○自己決定と自立支援を意識し、入居者様個々の状況に応じた着替えや排泄等の生活支援をケア計画に添いながら行うことが出来ました。

④緊急時の対応

○看護師・介護職員が夜間急変時に即対応可能なように連携体制を強化することができました。

⑤各種生活相談

○生活相談員による日常生活に関する相談、介護支援専門員による介護保険に係る相談を平日可能なように体制を整えることが出来ました。

⑥娯楽行事等の実施

- 周辺の花見ドライブ、夏祭り、敬老会、クリスマス大忘年会、雪まつり
- ユニット毎の行事(昼食作り、おやつ作り、お花見、ショッピング、入居者様 1 人ひとりの誕生会)
- 生き絆活動 遊びりテーション GAKU (年 3 回)、手芸チョコキチョコキ (年 3 回)、家庭菜園(適宜) 書道志 (年 2 回)

全体行事から個別外出まで、個人と状況に合わせ実施することが出来ました。

(年間行事)

施設行事(全体)

実施月	行事名	内容
4 月	お花見行事	近隣公園へ桜鑑賞に出かける。各ユニットで日程を決め、参加人数を限定し車で出かける。車で参加できなかった入居者様は苑敷地内に咲いている桜を鑑賞した。
5 月	ちよきちよき(手芸クラブ)	感染対策にて各ユニットに材料を配布し出来る方に参加していただいた。
6 月	GAKU(遊びクラブ)	4 階展望室にて人数制限して 2 部構成にし、リズム体操を実施。
7 月	御所湖花火大会観覧	新型コロナ感染拡大の影響で開催中止となり観覧できず。

8月	夏祭り（繫花祭）	昨年と同様、感染対策の為規模を縮小し、地域交流室にて屋台やくじ引きゲームなど全体での催し物、各フロアでのさんさ踊り、各ユニットでのスイカ割りなど盛りだくさんであった。また、家族会の協力で大抽選会も開催できたことで大いに盛り上がった。
9月	ちょきちょき（手芸クラブ）	芸術祭に向けての作品作り。感染対策のため各ユニットに参加者の分の材料を配布し行った。
	敬老会「長寿を祝う会」	今年も感染拡大防止策として、全体での開催ではなく年祝者を中心に4階展望室にて行った。
10月	書道教室「志」	芸術祭に向けての作品作り。
	盛岡シティマラソン応援	新型コロナ感染拡大の影響でオンライン開催となったため応援できず。
11月	芸術祭	4階展望室で入居者様、職員、ユニットの作品展示を行った。各ユニットにおいて笑顔で制作活動されている様子が伺えた。
	滝沢南中学校定期演奏会 DVD鑑賞会	感染症拡大防止の為、生徒の皆さんが来苑して演奏していただく事が出来なかったが、学校で演奏した様子をDVDとして苑に届けてくれた。感染対策の為2部構成にし全員で20名ほどの参加者で、4階展望室にてDVD鑑賞を行った。 また、お礼の額を吹奏楽の皆さんに送り交流を保ち、来年度へつなげていきたい。
12月	クリスマス・大忘年会	感染拡大防止の為、各フロアごとの2部構成にし、余興は1階の地域交流室で、ケーキバイキングは各フロアステーションで行った。久しぶりの集まりで職員の余興やケーキバイキングを楽しんでおられた。
	餅つき、お供え作り	感染拡大防止の為、今年もお餅を購入し各ユニット、各部署に鏡餅を配置。1階正面にお正月の飾り花を設置し、お花の前で写真撮影が行われ、お便りにご家族へ送ることが出来た。
1月	書道教室	ユニットごとに道具を配布し、入居者様各々で新年の抱負を書初めされ、居室に飾りました。
2月	節分	コロナワクチンの接種日と重なったため、豆まきはせず各ユニットに鬼のお面と節分うちわを配布しそれぞれで写真撮影を行った。また、昼食は節分行事食で皆さんおいしそうに海苔巻きを召し上がっていた。おやつには甘酒を提供した。
	雪だるまつり	今年の干支である「寅」をモチーフに中庭と2階バルコニーに雪像を作成した。また、イルミネーションも同時に飾りユニットや、各ステーションから眺める事ができた。雪像は溶けてなくなったが、各フロアに写真スポットを設けた。
3月	ひな祭り	2階ステーションにお雛様を飾った。皆さん、懐かしむようにご覧になられたり、写真を撮ったりしていた。

施設行事（ユニット行事）

実施月	行事名	内容
8月	自宅へドライブ	入居者様自宅周辺のドライブ、自宅の畑もみて帰苑された
9月	芸術祭作品作成	芸術祭に向けての作品作りを行った後の後皆さんでおやつを食べながら完成した作品を鑑賞された。
11月	紅葉ドライブ	御所湖広域公園にて晩秋の紅葉を楽しんだ。
	だまっこ汁作り	ユニットでだまっこ汁を作り心身共に温まる行事となった。

12月	お菓子バイキング	ユニットでおやつを購入し皆さん好きなお菓子を選んで召し上がっていた。
1月	プリンパーティー	購入したプリンにチョコレートや生クリームをデコレーションしながら召し上がった。
2月	雪景色ドライブ	気分転換を兼ねて車窓ドライブに出かけた。

(5) 地域と交流促進

ボランティアとの親交や、地域との交流促進への取り組み

実施月	行事名/ボランティア名	内容
5月	北日本医療福祉専門学校	介護実習Ⅱ-1 (2名受け入れ)
6月	北日本医療福祉専門学校	介護実習Ⅱ-1 (2名受け入れ)
	労働安定センター	施設説明会 (4名参加)
	認知症ケア推進委員会 (地域包括)	スローショッピングについて (1名参加)
9月	北日本医療福祉専門学校	介護実習Ⅱ-2 (2名受け入れ) (9/1~10/6)
10月	北日本医療福祉専門学校	介護実習Ⅱ-2 (2名受け入れ) (9/1~10/6)
	労働安定センター訪問	実習中止に伴い、実施されていた場合の実習内容についての説明をセンターに赴き説明した。
	労働安定センター施設見学	見学者5名対応
2月	地域ケア会議	情報交換、事例検討

(6) 研修報告

施設内研修

実施月	内容	参加人数
4月	新人職員オリエンテーション	4名
	介護職員内部研修 (リーダー)	10名
5月	介護職員内部研修 (サブリーダー)	9名
6月	コミュニケーションとビジネスマナー (新人) *外部講師大村洋子氏	7名
	介護職員内部研修 (1) *外部講師大村洋子氏	9名
7月	介護職員内部研修 (2)	9名
	感染防止褥瘡対策委員会 (ガウンテクニック演習) ※動画作成し全職員が視聴できるようにした	5名 (50名)
	口腔ケア・痰吸引・胃瘻対策委員会 (歯科衛生士による口腔ケア手技の動画視聴)	9名
8月	介護職員内部研修 (3)	6名
	口腔ケア・痰吸引・胃瘻対策委員会内部研修 (歯科衛生士による口腔ケア手技の動画視聴) ※41名の視聴時間は各自にて	9名 (41名)
	安全衛生委員会 (腰痛予防)	6名
9月	介護職員内部研修 (パート)	4名
	介護職員内部研修 (新人)	4名
10月	介護職員内部研修 (リーダー、他部署) リスクマネジメントについて	13名
	排泄委員会内部研修	6名
11月	介護職員内部研修 (サブ) ※認知症について、腰痛予防について	9名
12月	痰吸引胃瘻対策、口腔ケア委員会 ※口腔ケア用品の使用の仕方	9名
	拘束廃止委員会内部研修 ※オンデマンド研修 (アンガーマネジメント)	13名
	介護職員内部研修 (1) ※介護過程の展開、認知症に関する	7名

1月	介護職員内部研修(2) ※認知症について、法令順守プライバシーに関する	9名
	感染防止委員会 ※感染対策シミュレーション	7名
2月	介護職員内部研修(3) ※認知症について、プライバシーに関する(資料提示)	6名
	排泄委員会内部研修(コンチネンス発表会) 動画視聴	36名
3月	介護職員内部研修(パート) 認知症について(資料提示)	4名

施設外研修

実施月	研修名	主催者	参加人数
6月	リスクマネジメント担当者研修(オンライン)	日本慢性期医療協会	1名
	衛生管理者準備講習	岩手労働基準協会	1名
	認知症介護実践者研修	いきいき岩手支援財団	1名
7月	介護事業者支援セミナー	介護労働安定センター	1名
	医療的ケア研修	岩手県社会福祉協議会	1名
8月	医療的ケア研修	岩手県社会福祉協議会	1名
9月	モルテン褥瘡研修(オンライン)	モルテン	5名
	口腔ケアについて(オンライン)	滝沢中央病院	9名
	危険物取扱者保安講習	岩手県危険物安全協会連合会	1名
10月	認知症対応型サービス事業管理者研修	いきいき岩手支援財団	1名
11月	雇用管理者講習	介護労働安定センター	1名
	小規模多機能型サービス計画作成研修	いきいき岩手支援財団	1名
	安全対策担当者養成研修(オンライン)	全国老人福祉施設協議会	1名
	ほのほのオンラインセミナー	NDソフトウェア(株)	5名
	ケアマネ研修(オンライン)	岩手県介護福祉士会	2名
	福祉サービス苦情解決情報交換会	福祉サービス運営適正化委員会	2名
12月	中央ブロック事務部会職員研究会	中央ブロック高齢者福祉協議会	1名
2月	もりおか認知症ケアマネジメント研修	いきいき岩手支援財団	1名

【事故報告】4件

98歳	女性	要介護5	左下肢腓骨骨折、脛骨骨折
発症・詳細	令和3年5月3日昼食前、ベッドから車いすへ移乗しようとした際に痛がる様子があり、左下肢に熱感と数か所の内出血が確認される。当日は経過観察し、翌日に盛岡医療センター受診するが、連休中であることから詳しい検査は出来ず経過観察の指示を受け施設に戻る。痛み続く為5月7日滝沢中央病院受診し、上記のとおり診断され患部固定し施設に戻る。その後数回通院し完治。(6月15日行政報告終了)		

92歳	女性	要介護4	左大腿骨ステム骨折、脛骨骨折
発症・詳細	令和3年6月4日昼食後、居室へ戻りベッドへ移乗介助し臥床する。処置の為約1時間後に訪室した看護職員が左大腿部の隆起を確認し、本人も痛みを訴えた為柄内病院受診したところ上記のとおり診断され入院となる。6月7日手術後、脳梗塞発症し7月1日リハビリ目的で盛岡つなぎ温泉病院へ転院。その後退所となる。(7月8日行政報告終了)		

89歳	女性	要介護4	肋軟骨骨折疑い
発症・詳細	令和3年11月3日トイレでの排泄後、便座から車椅子へ移乗介助中に入居者様が姿勢を崩され、職員が支えようと咄嗟に抱える。直後は痛み等無かったが、翌日、回診時に本人が痛みを訴えたので囑託医から検査指示がでる。11月5日滝沢中央病院受診し上記のとおり診断されるが、処方等はなく施設に戻る。(11月5日行政報告終了)		

83 歳	女性	要介護 4	左大腿部頸部骨折
発症・詳細	令和4年2月24日0時前、センサーマット感知により訪室しベッド脇に倒れているところを発見し、滝沢中央病院受診の結果上記のとおり診断される。温存療法にて施設での経過観察指示を受ける。(3月8日行政報告終了)		

【第2種社会福祉事業】

・ 繫松苑指定短期入所生活介護事業

(1) 短期入所事業の目標への取り組み

定員 10 名に対し目標利用者を一日平均 10 名に設定し活動した結果平均 8.2 名/日の実績を得ました。

(2) 短期入所者の利用状況

利用状況 繫松苑 短期

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
要支援 2	6	0	6	8	8	8	10	7	13	6	5	6	6.9
要介護 1	58	79	76	62	55	51	49	67	54	59	37	46	57.8
要介護 2	86	89	81	101	98	75	83	82	81	64	75	88	83.6
要介護 3	31	21	19	26	27	39	27	34	46	36	44	31	31.8
要介護 4	57	49	72	49	30	36	42	44	43	41	26	26	42.9
要介護 5	2	4	3	0	20	33	21	40	39	65	60	47	27.8
計	240	242	257	246	238	242	232	274	276	271	247	244	250.8
平均介護度	2.4	2.4	2.3	2.2	2.3	2.4	2.4	2.4	2.4	2.5	2.6	2.5	2.4

入院の状況 ((空床利用) 短期入所生活介護)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
入院日数	47	61	148	202	105	122	187	71	85	68	129	109	111.2
短期利用日数	1	0	0	0	0	0	0	2	0	4	0	0	0.6

令和 3 年度 累計実人数 439 人/年、累計延べ人数 3,009 人/年

(3) 提供サービス充実への取り組み

事業目標	事業方針	評価
在宅生活継続と自立の支援	① 利用者様の在宅生活を尊重し、自宅での自立した生活が無理なく継続出来るように支援を行う。 ② 在宅における介護者の介護力の維持を図るよう連携していく。	① 歩行状態等を把握し、ショートステイ利用中も残存機能を意識し、ご利用頂いた。個別機能訓練移管しても計画通り実施することができた。 ② お便りや手帳等を用いて、ご利用者の現在の心身状態をお伝えし、ご家庭での生活に反映することができた。

<p>他者との交流にて楽しみを見出すことができるような支援</p>	<p>他の利用者様との触れ合いの中で、新たな趣味活動等を行うことにより、明日への楽しみを見出すことができる支援を行う。</p>	<p>・新型コロナウイルスの感染予防に努めながら、限られた範囲内で行事や趣味活動を行うことができた。基本的な感染対策として、換気や環境面、手指の消毒、クリアパネルを用いて今後も安心してご利用頂ける様、努力していきたい。</p>
-----------------------------------	---	---

(年間行事)

実施月	行事名	行事内容
4月	春を感じよう!	御所湖広域講演、小岩井方面お花見ドライブ(9名参加)
5月	アイスを食べよう!	アイスクリームにトッピングを施し食べて頂く(14名参加)
	おやつバイキング	お菓子を利用者様に選んで食べて頂く(7名参加)
6月	カップでパフェを作ろう!	おもいおもいにデコレーションしたパフェを作り、食べて頂く(8名参加)
7月	マスクケースを作ろう!	持参されるマスクのケースをクリアファイルを使って作成(12名参加)
7月	梅雨時期を楽しもう!	雫石紫陽花ロードドライブ(7名参加)
	みかんケーキ盛ってお食べんせ	ホットケーキミックスを使ったおやつ作り(10名参加)
10月	秋の彩りを楽しもう!	雫石方面に紅葉ドライブ(15名参加)
11月	手作りおやつを楽しもう!	どら焼き風おやつ作りに挑戦(17名参加)
12月	短期入所のクリスマス会	ユニット内でこじんまりとクリスマス会(9名参加)
2月	雪だるまつりバレンタイン	ユニット内でバレンタインにちなんだゲームを楽しむ(9名参加)

【松実会複合型福祉施設拠点】

【第2種社会福祉事業】

・小規模多機能型居宅介護事業所「おはな」事業

【事業目標に対しての評価】

事業目標	事業方針	評価
小規模多機能型居宅介護事業所「おはな」をご利用されるすべての方々が、安心して過ごせる時間と空間を大切に考え、個々に生きがいを持ち、いきいきと笑顔で生活を送れるように家庭的で温かみのある介護・福祉サービスの提供に努める。	「地域と歩み・地域で育み・地域に生きる。思いやりと謙虚な心を常に持ち、この地で幸せを共に分かち合う」を基本理念とし、以下の事業方針を掲げる。 ①気持ちに寄り添い、優しい心で向きあう。 ② ご利用者の望む暮らしが実現できるよう、環境の調和に努める。 ③ ご利用者が気兼ねなく過ごせるよう、柔軟な態度で接する。	地域密着型サービス事業所として、地域サロン・読み聞かせを通し地域住民との交流の機会となった。また運営推進会議ではご利用者・ご家族地域等と意見交換できた事で交流を図ることができた。岩手県の新型コロナウイルス感染拡大により、行事・レク・地域活動等は思うように活動することが出来なかった。今後は、コロナ感染症と共存しながらご利用者の生活が有意義なものになる様に努めていきたい。

(1) 利用者確保への取り組み

利用登録定員29名の維持確保に取り組んだ結果、月平均28.4名の登録の実績を得た。

登録：29名（定員）

	延べ利用者数			登録者数
	【宿泊】	【通い】	【訪問】(回数)	
	最大定員数9名まで	最大定員数18名まで		
要支援1		78		1
要支援2				
要介護1	228	651	1,251	4
要介護2	484	1,940	11,218	11
要介護3	504	1,601	6,451	8
要介護4	450	852	1,011	4
要介護5	65	165	372	1
計	1,731	5,287	20,303	29

登録の状況者の推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
新規		1			1	1			2				0.4
終了	1	1	1		1				1			3	0.5
平均介護度	2.5	2.4	2.4	2.3	2.3	2.3	2.4	2.4	2.4	2.5	2.5	2.4	2.44

出身地別内訳（令和4年3月末現在）

【県内】計26人 滝沢市25人、盛岡市1人

(2) 提供サービス充実への取り組み

ご利用者お一人お一人の生きがいとなることや役割を担えるものを見つけ、ご本人にご自身の存在価値を感じていただくよう取り組んでいる。通いサービスでは、ご本人のご希望をお伺いしながら、事業所内の掃き掃除や窓ふき、食器洗いや事務作業などをお手伝いしていただくことで自立支援に繋げることができた。日々の生活の中で「自分が任されている」という役割をもつことで、日々の生活においてもやりがいや張り合いを生み出すよう支援に努めている。

*年間行事

実施月	行事名	内 容
4月	春を愛でる会	季節感を感じていただき、気分転換を図りました。
5月	新緑を楽しむ会	気分転換を図り、体を鍛えるレクリエーションをしました。
6月	日光浴を楽しむ会	4階テラスで日光浴をして気分転換を図りました。
7月	映画観賞会	昔馴染みのある映画を楽しんで頂きました。
8月	ビンゴ大会	ゲーム感覚で指先を動かし、脳の活性化を図りました。
	スイカ割大会	滝沢スイカを食し、季節感を感じていただきました。
9月	ミニ運動会	感染対策を講じ、体を動かす機会を作りました。
10月	ペーパーリース作り	手指を使っての機能訓練及び脳の活性化を図りました。
12月	クリスマス会	季節感を味わい、参加者で会を盛り上げました。
1月	DVD鑑賞会	昔馴染みの映画を楽しんで頂きました。
2月	節分行事	季節を感じる行事で参加者同士の交流も深めました。
3月	ひな祭り	ひな祭りの歌をうたうなどしながら、季節行事を楽しみました。

・誕生会、クッキングクラブ、手芸クラブ、カラオケクラブ、書道教室…1回/月（定期開催）

・バスハイク（不定期）：車を使用するの行事は密になり感染リスクが高まるので、中止しました。

総括：県内の新型コロナウイルス感染症拡大の為、人数制限や内容を変更するなど状況に応じ実施しました。

【地域との交流促進】

実施月	団体名	内 容
4月・8月・ 11月・ 12月	ココしゃきクラブ	ココロからダンス及びリハビリ機器を活用した機能訓練
11月・ 12月	べっぴんクラブ	紙芝居及び読み聞かせ会

*その他、下記については定期開催：新型コロナウイルス感染症防止の為、地域活動を制限しました。

- ・ 5、7、9、11、1、3月…運営推進会議（2カ月に1回開催）
- ・ 9、3月…第三者委員会（半期に1回開催）
- ・ 毎月第1・3月曜日…滝沢ニュータウン1工区地域サロン（毎月開催）
- ・ 毎月第2木曜日…読み聞かせボランティア（毎月開催）
- ・ 毎月第3水曜日…手芸ボランティア（毎月開催）

④研修報告

*施設内研修

実施月	研修名	参加人数
6月	リスクマネジメント・高齢者虐待防止について	14名
7月	高齢者に多い16疾患の基礎知識	11名
8月	利用者理解とチームワークについて	7名

9月	小規模多機能型居宅介護における計画作成担当者の役割	9名
10月	高齢者虐待防止について及び小規模多機能型介護について	13名
11月	医療施設におけるインフルエンザ・ノロウイルス対策/正しい汚物処理方法	15名
12月	不適切ケアの基礎知識/アンガーマネジメント/マインドフルネス等	13名
2月	アンガーマネジメント/介護技術について	17名

*施設外研修

実施月	研修内容	主催者	参加人数
4月	地域ネットワーク会議	滝沢市地域包括支援センター	1名
6月	地域ネットワーク会議（ZOOM）	滝沢市地域包括支援センター	1名
9月	ストーマ講習会	チームもりおか	1名
12月	地域ネットワーク会議（ZOOM）	滝沢市地域包括支援センター	1名
2月	訪問看護ステーションの役割から施設の看取りを考える	チームもりおか	1名

【第2種社会福祉事業】

・松実会指定訪問介護事業所

【事業目標に対しての評価】

事業目標	事業方針	評価
利用者様が、可能な限り自宅において自立した日常生活を継続できるよう、訪問介護サービス・生活総合事業の訪問介護型サービスでの支援を図り、必要とされる事業所を目指す。	① 介護計画に沿った支援を行う中で、利用者様及びご家族の心身の状態変化がみられる場合はサービスに関わる介護支援専門員をはじめ各サービス担当者と連携を図り、介護計画見直しの検討を行う。	① 利用者様、ご家族に状態変化が見られた場合は、その都度各サービス関係機関への情報提供を密に行い、連携を図ることができました。
	② 内外の研修等を通じ、専門知識・技術の研鑽に努めサービス提供にあたる。	② コロナ禍の為研修実施が予定通りに行えない部分もありましたが、実施できた研修には積極的に参加し、専門的知識の習得や技術の向上に努めました。
	③ 利用者様の意見や苦情等を真摯に受け止めサービスの改善に努める。	③ 利用者様からの相談やご意見に対し、早期対応に努め、サービス改善に努めました。
	④ 訪問時の事故（移動時の車の運転も含む）防止、に細心の注意を払い、安全にサービスの提供を行う。	④ 常に利用者様個々の状況を把握し、安全なサービス提供を心掛け大きな事故もなく安全にサービス提供することが出来ました。
	⑤ 利用者様の心身の機能、環境状況等を把握し、利用者様の所在する市町村、地域包括センター、他の居宅サービス事業者、保健医療サービスおよび福祉サービスを提供する者との連携に努める。	⑤ 利用者様の状態把握をすると共に、自宅での生活が継続できるように各種サービス関係機関と情報の共有をし連携に努めました。

(1) 訪問介護目標への取り組み

目標達成に向けて取り組んだが、身体介護サービス利用者の施設入所及び入院などが多く、目標には届かない結果となる。全体のサービスに占める割合は収益の高い身体介護サービスが38%で収益性のない生活支援及び総合サービスが59%であった。

今後は事業継続と収益性を高めるために身体介護サービスと生活支援サービスの比率を近づけるようにサービス提供していく必要がある。

期中実績 期中1ヵ月平均利用者訪問実人数 … 42.0人/月（前年度実績 44.0人/月）

利用状況 訪問介護事業
介護・総合事業サービス内訳（件）

要介護		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
身体	20分未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20分以上 ～ 30分未満	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	30分以上 ～ 1時間未満	77	86	83	86	103	103	118	122	122	119	105	107	1231
	1時間以上	13	17	23	34	23	17	12	13	14	12	12	15	205
	生活	20分以上 ～ 45分未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	45分以上	120	112	122	124	129	133	133	125	144	127	116	120	1505

※身体 38% 生活 40%

要介護		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
身体生活	20分未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20分以上～ 30分未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30分以上～ 1時間未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1時間以上	8	8	7	9	9	8	9	9	9	8	8	6	98

※身体生活 3%

要支援	訪問型サービス費						短時間
	I（週1回程度）	II（週2回程度）	III（週2回を 超える程度）	IV（月4回 まで）	V（月5～8回 程度）	VI（月9～12 回）	
延べ利用者数	22	42	12	79	33	12	0
延べ利用回数	22	42	12	267	233	138	0

※総合 19% 延べ利用者 200人 延べ回数 714回

(2) 活動の基本方針

目標達成に向けて次の方針に基づき活動した。

- ① 介護サービスの提供に当たっては、懇切丁寧に行うことを旨とし、利用者様、ご家族様にサービスの提供方法等について理解を得られるよう説明を行う。
- ② 介護支援専門員に対して利用者様の状況等の情報を提供する。
- ③ 事業所内でも年間を通して研修を行い、介護技術の向上を図る。
- ④ 地域内及び近隣市町村の訪問介護事業者及び居宅介護支援事業者との連絡、交流を緊密に図る。

(3) 研修報告

①訪問事業所内全体研修

実施月	研修名	参加人数
5月	福祉職員接遇マナー	6名
6月	高齢者の健康管理と脱水について	7名
7月	高齢者施設における感染対策と脱水について	7名
8月	食中毒について	7名
9月	高齢者虐待防止について	6名
10月	認知症について	6名
11月	高齢者虐待防止と身体拘束	6名
12月	倫理・法令遵守・プライバシー保護について	6名
1月	緊急時対応・事故再発防止について	6名
2月	クレーム・苦情対応について	6名

②訪問事業所内個人研修

グループ区分	研修期間	研修課題	参加人数
グループE・A・B	11/1~1/31	介護手順マニュアル作成	3名
グループB・C	7/1~8/31	介護技術テキストレポート	5名
グループC	11/1~12/31	訪問介護サービス手順書作成	4名

③施設外研修

実施月	研修名	主催者	参加人数
7月	事例から学ぶ介護リスクマネジメント（サービス提供責任者 松浦・吉田、訪問介護員 向久保参加）	岩手県ホームヘルパー協議会	3名
	ホームヘルパーに必要な医療的知識とは 第1部（サービス提供責任者 松浦参加）	山口県社会福祉協議会	1名
	ハラスメント防止対策（サービス提供責任者 松浦参加）	医療法人松誠会・社会福祉法人松実会	1名
8月	ホームヘルパーに必要な医療的知識とは 第2部（サービス提供責任者 松浦参加）	山口県社会福祉協議会	1名
9月	訪問介護のための防災・感染症BCP対策講座 第1部（サービス提供責任者 松浦参加）	山口県社会福祉協議会	1名
	パーキンソン病の診断と治療（サービス提供責任者 松浦参加）	医療法人松誠会・社会福祉法人松実会	1名
10月	訪問介護事業所のための防災・感染症BCP対策講座 第2部（サービス提供責任者 松浦参加）	山口県社会福祉協議会	1名
11月	令和3年度介護保険サービス事業所及び有料老人ホーム集団指導（サービス提供責任者 松浦参加）	盛岡広域振興局 医療介護課	1名
1月	感染症対策研修会（サービス提供責任者松浦参加）	岩手県中央保健所 保健課	1名
2月	介護事業者のための業務継続計画（BCP）作成セミナー（サービス提供責任者 松浦参加）	厚生労働省 老健局 老人保健課	1名
3月	処遇改善補助金と10月からの新加算について（サービス提供責任者 松浦参加）	介護労働安定センター	1名

要介護5	27												2.3
計	537	558	539	546	558	536	558	540	558	558	504	558	545.8
平均介護度	1.9	1.8	1.8	1.7	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.7	1.7

(3) 入退居の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居計	1			1		1							3
退居計	1		1			1							3
備考	(退居内訳)						(平均年齢)						
	死亡			1			86.2歳						
	長期入院			1			※男女別	男	86.4歳				
	他施設			1		女		87.2歳					
	家庭復帰						(入所待機者)						
	その他						2人						
合計				3人		0人							

(4) 提供サービス充実への取り組み

基本方針の「入居者様がホームでの暮らしに『いきがい』『やすらぎ』『よろこび』を感じ、安心・安全な日常生活を送っていただけるよう、①健康管理、②食事の提供、③娯楽・行事④苦情・生活相談を意識して取り組みました。

具体的には、

①健康管理

- 体重及び血圧等の測定
- 健康相談
- 協力病院及び近隣医療機関への送迎、付添
- 健康診断の推奨

②食事の提供

- 食事に関するアンケート調査
- 食事時間に合わせて調味料をテーブルに置く

③娯楽・行事

- 近隣のスーパーマーケット等へのショッピング
- 小規模多機能居宅介護「おはな」と合同での行事や手芸教室等の開催
- 映画鑑賞会とクッキングクラブ、カラオケの開催

④苦情・生活相談

- 意見箱の設置
- 運営懇談会の開催
- 居室訪問、外出時等を利用したの困りごと等の聞き取り（随時）
- 滝沢市介護相談員派遣事業の受入

を実施し、サービス内容の充実に取り組みましたが、③娯楽・行事についてはコロナ禍の為、中止や参加人数を制限する等の感染対策をしましたが、入居者様には居室で過ごす時間が長くなったと思いません。

(年間行事)

実施月	行事名	内 容
4月	お花見ドライブ	四十四田ダム、高松の池、県立大学の桜を見学しました。
5月	花植え	4階屋上にて、プランターに花を植え成長を楽しみました
6月	新緑ドライブ	高松の池のバラ園を楽しみました。
	新型コロナワクチン接種	1回目の新型コロナワクチン接種を実施しました。

7月	新型コロナワクチン接種	2回目の新型コロナワクチン接種を実施しました。
	かき氷作り	かき氷を皆さんで作って、涼みながら交流をしました。
8月	運営懇談会	前年度下期の状況報告等
	おやつ作り	皆さんで作った芋もちをおやつ時に食べました。
9月	長寿を祝う会	行事食の提供と記念品贈呈
	消防訓練	日中帯における出火を想定し、消火・避難・通報訓練を実施。
10月	紅葉ドライブ	玄武洞・小岩井農場・網張温泉の紅葉を楽しみました。
11月	運営懇談会	新型コロナワクチン感染症対策等
	介護保険施設等の実地指導	盛岡広域振興局保健福祉環境部(3名)
12月	年賀状づくり	コロナ禍でなかなか会えない遠方のご家族等へ、写真入り年賀状を書いて、新年の挨拶や近況報告をしました。
	クリスマスケーキ作り	小さなケーキを一人ずつデコレーションし、召し上がって頂きました。
	クリスマス会	クリスマスツリーの飾り付けを皆さんにして頂き、くじ引き抽選会やクリスマスの歌を唄い交流を図りました。
2月	節分豆まき	落花生の代わりにカラーボールを鬼に当て、厄払いをしました。
3月	消防訓練	消防設備の確認と緊急連絡網の模擬訓練をしました。また、DVD視聴訓練も行いました。
	夢灯り	4階屋上にイルミネーションやLEDライト等で電飾し、夕食後に皆さんで幻想的な雰囲気を楽しみました。

(5) 【地域との交流促進】

実施月	団体名	内 容
11月・12月	滝沢ニュータウン地域サロン	100歳体操
11月・12月	ベっぴん倶楽部	紙芝居読み聞かせ

(6) 研修報告

施設内研修

実施月	研修名	参加人数
6月	コロナウイルス感染対策Ⅰ	5名
10月	高齢者虐待防止・身体拘束の法令及び指針の理解を深める	5名
11月	事業継続計画（BCP）及び個人用防護具（PPE）資料研修	5名
12月	インフルエンザ・ノロウイルス対策DVD視聴研修	5名

施設外研修

実施月	研修名	主催者	参加人数
7月	ハラスメントの正しい理解生き生きと働ける職場づくりのためにwebセミナー	医療法人松誠会	1名
9月	パーキンソン病webセミナー	医療法人松誠会	1名
10月	スピリチュアル・ペインを抱える認知症高齢者とのコミュニケーション(webセミナー)	日総研出版	1名

11月	認知症高齢者の思いをくみ取るコミュニケーション(webセミナー)	日総研出版	1名
12月	あの人はスーパー相談員と言われる連携・調整術・webセミナー	日総研出版	2名
2月	介護事業者の為の業務継続計画(BCP)作成セミナー(第3回セミナー)	厚生労働省 老健局 老人保健課	2名
	高齢者のナラティブに寄り添うケアと対応の工夫(webセミナー)	日総研出版	1名
3月	ACPを実践するための視点とプロセス(webセミナー)	日総研出版	1名
	新常態で思やりを伝える接遇マナー実践研修(webセミナー)	日総研出版	1名

【収 益 事 業】

○賃貸経営

1.基本方針

この事業から生じた収益は、この法人の行う社会福祉事業に充てるものとする。

2.事業の取り組み

令和3年度は、収益の1,200,000円を社会福祉事業へ繰入を行った

【法人福祉サービスに関する苦情解決事業】

1. 苦情相談の受付状況					
年度	R3	R2	R1		
苦情相談	2	1	3		
延件数	2	1	3		
コメント：					
2. 苦情相談の内容（令和3年度受付分）					
	実件数（件）	割合（％）	解決済み	検討中	備考
職員の接遇					
サービスの質や量					
説明・情報提供	2	100	2		
利用料					
被害・損害					
権利侵害					
その他					
計	2	100			
コメント：					
<p>繫松苑： ご家族様から「差し入れた物品が本人の手元に届いていないようだ」と問い合わせがあった。実際はご本人様に届いていたが、職員間の申し送りが徹底されずご家族様に不信感を与えてしまった。</p> <p>また、連絡しても直ぐに来ることができないご家族様のために、一部衛生用品を業者から預かり、必要な分を補給し代金は後日いただいていたが、ご家族様から「頼んでもいないのに代金を請求された」と苦情の連絡があった（入所時に説明し同意のうえで実施。これまでは何も言われたことはない）。</p>					
3. 苦情相談の対応					
	実件数（件）	割合（％）			
傾聴のみ	2	100			
申出人への助言					
専門機関・関係機関の紹介					
当事者間の話し合い解決推奨					
苦情通知					
事情調査					
その他					
計	2	100			
コメント：					
繫松苑： 2件とも同一の方からの申し立てであり都度傾聴して謝罪し信頼回復に努めた。					
4. 事業所別					
事業所名	件数（件）	割合（％）	R2年度（件）	R1年度（件）	
ケアハウス巣子				1	
介護付ケアハウス巣子					
松実会居宅介護支援事業所				1	
訪問介護事業所					

通所介護事業所				
麗峰苑				
麗峰苑居宅介護支援事業所				
麗峰苑短期入所事業所				
繫松苑	2	100	1	1
繫松苑短期入所事業所				
小規模多機能おはな				
住宅型有料ピースフル滝沢				
計	2		1	3

コメント：

繫松苑： コロナ禍で直接面会が出来ない事や、短時間での相談になることが重なり苦情に繋がったと考える。直接面会が出来ない時期だからこそ連絡を心がけ、ご家族様とのコミュニケーションをとるように努めたい。

Ⅲ. 職員数内訳

令和4年3月31日現在の職員数は次のとおりである。

事業所名	職員数 (人)	再掲	再掲	男女内訳	
		臨時 (人)	パート (人)		
ケアハウス	11	3		男 6 名	女 5 名
介護付ケアハウス	15	1	1	男 3 名	女 12 名
松実会地域包括支援センター	6	0	1	男 1 名	女 5 名
松実会居宅	6	1	0	男 0 名	女 6 名
通所介護	4	0	1	男 1 名	女 3 名
麗峰苑	60	5	11	男 16 名	女 44 名
麗峰苑居宅	1	0	0	男 1 名	女 0 名
繫松苑	72	7	11	男 23 名	女 49 名
繫松苑短期	8	0	0	男 1 名	女 7 名
小規模多機能おはな	18	0	6	男 3 名	女 15 名
住宅型ピースフル	10	3	3	男 1 名	女 9 名
訪問介護	6	0	3	男 0 名	女 6 名
法人本部	4	0	1	男 2 名	女 2 名
計	221	20	38	男 58 名	女 163 名
前年比 (増減)	223 (-2)	20 (±0)	43 (-5)	男 60 名 (-2名)	女 163 名 (±0名)

IV. 役員会等の承認事項

理事会及び評議員会で承認を得た事項は、次のとおりである。

(理事会)

開催年月日	議案
R3. 5. 27	報告第1号 評議員選任・解任委員会の結果について 報告第2号 理事長の職務執行状況について 報告第3号 専務理事の職務執行状況について 報告第4号 業務執行理事の職務執行状況について 議案第1号 令和2年度事業報告の認定について 議案第2号 令和2年度決算の認定について 監査報告 議案第3号 理事候補者の選任(案)について 議案第4号 監事候補者の選任(案)について 議案第5号 定款の変更(案)について 議案第6号 役員賠償責任保険加入について 議案第7号 定時評議員会開催(案)について
R3. 6. 22	議案第1号 理事長の選任について 議案第2号 専務理事の選任について
R3. 9. 24	報告第1号 理事長の職務執行状況について 報告第2号 専務理事の職務執行状況について 報告第3号 業務執行理事の職務執行状況について 議案第1号 管理者の人事異動について
R3.12. 20	報告第1号 理事長の職務執行状況について 報告第2号 専務理事の職務執行状況について 議案第1号 基本財産処分について(案) 議案第2号 臨時評議員会の開催について(案)
R4. 3. 24	報告第1号 理事長の職務執行状況について 報告第2号 専務理事の職務執行状況について 議案第1号 令和3年度資金収支予算第1次補正(案)について 議案第2号 令和4年度事業計画(案)について 議案第3号 令和4年度資金収支予算(案)について 議案第4号 諸規程の変更(案)について 議案第5号 会社役員損害賠償責任保険の更新(案)について 議案第6号 苦情解決事業第三者委員の選任(案)について

(評議員会)

開催年月日	議案
R3. 6. 22	報告第1号 令和2年度事業報告について 議案第1号 令和2年度決算の認定について 議案第2号 理事の選任について 議案第3号 監事の選任について 議案第4号 定款変更(案)について
R4. 1. 28	議案第1号 基本財産処分について(案)